京城日報
十二月九日夕刊（朝夕刊併せて八頁）
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十錢
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社 發行兼編輯人 小川三之助
[illegible]

○露艦隊芬灣退却

獨公報に曰く獨軍は二十一日ダゴ、シルダウ等を占領しムーンズントに在りし露國艦隊は芬蘭灣に退却せり（倫敦電報）

○米軍火蓋を切る

米國軍は今や佛國戰線に配備せられ其の砲兵は第一彈を發射せりと（倫敦電報）

○伊内閣首相後任

伊太利内閣は議會に於て不信任の結果總辭職をなせるが新首相は外相ソンニノ男ならむ（羅馬電報）

○伊軍危急に瀕す

伊國半官報は曰く戰線に於ける各陣地には激烈にして未だ解決せざる惡戰苦鬪繼續されつゝあり形勢は危急に瀕し敵は我國境を突破したる後平原の入口に達せんと試みつゝあり敵の强大なる突擊隊は我軍に依り擊退せられつゝありと（倫敦電報）

○英軍費五百億圓

英國の開戰以來支出せる軍事費は九月末迄に五百億圓に達したり（倫敦電報）

○西國内閣總辭職

西班牙内閣は總辭職を爲せり（マドリット電報）

○獨艇又活躍せんとす

ビスケー灣一帶よりカナリー群島方面に亙る獨逸潜航艇の活動は英佛側の警戒嚴重なると共に漸次其跡を絶つ模様ありたるも近頃再び活躍の兆あり之れ從來の獨逸潜航艇活動範圍は北海方面漸く冬季荒天の節に入るを以て活動の不便を感じたるに依るものなる可く歐洲航路一層警戒の要ある可しと（倫敦電報）

○獨内閣危機逼迫

獨逸皇帝歸京の結果海軍大臣の辭職聽許せられず内閣の危機愈々逼迫せり各政黨は宰相の更迭を熱望しつゝあり今日迄新聞に現はれし宰相候補者は前宰相ビューロー公現外相キュウルマン氏現藏相レーデルン氏等なり（ベルン電報）

○獨墺對露講和觀

露國勞兵會の發表せる講和條件に關し獨逸半官報は『其中歐側に關係ある細目の事項に關しては未だ容易に同意し難きも大體に於て妥協交讓を主とせるは英國側の精神と異なり却つて獨墺側の意見に近きものにして平和の爲め一進歩なり恐らく露國民多數の希望を現はせるものなるべし』と論じ又墺太利半官報は『條件の細目に至りては尙修正を要するもの多きも兎に角露國が協商側の戰爭目的に拘束せられず斷然自己の意思を發表したるは特筆に値す可く平和の爲め一大進歩なり』と論ぜり（ベルン電報）

○獨墺軍伊軍壓迫

獨逸公報に曰く獨墺軍は目下ジュリエン、アルプス山脈中にて伊國軍を伊太利平原方面に壓迫しつゝあり捕虜の數は今や六萬人に達し鹵獲せる大砲四百五十門に及び伊太利領イソンゾ戰線は遠くツイツバツチに至るまで動搖しつゝあり然れども敵はカルソウ戰線の陣地を支持すと（倫敦電報）

○米支新借款提議

米國政府は最近支那政府に對し歐洲出兵に要する經費として五百萬弗の借款を提議せりと（北京特電）

○芬蘭行麥粉抑留

米國政府は麥粉千二百五十萬キロを積載せる芬蘭行船舶三隻を抑留せり之同地が近く戰鬪地域となり獨逸の手に其麥粉が渡らん事を慮りてなりとの報あり（華盛頓電報）

◎總督と品評會

長谷川總督は神田秘書官を隨へ二十八日午後二時より商品陳列館樓上に於て開催中なる釀造品々評會に臨み具に巡覽の後優等に入選したる清酒、醬油及び一等賞を得たる味噌等を試味せるが斯界の顯著なる進步に對して滿足の意を表したりと

◎軍事郵規改正

十九日遞信省令を以て軍事郵便規則中の一部改正せられたるが朝鮮に於ても之に伴ひ內地同樣改正の事に決し三十日府令を以て發布十一月一日より施行のことゝなれり改正の要點は同規則第四條中『公用は五十匁』とありしを『百五十匁』となせるに在り

◎園遊會と注意

長谷川總督は三十一日天長の佳節當日官邸に於て總督府並に所屬官署勅任官以上の職員奏判任官總代李王職主要職員、外交團體等の祝賀を受けたる後午後二時より好道園に京龍の官民朝鮮貴族領事團員等千四百餘名を招待大園遊會を催すこととなれるは本紙既記の通りなるが當日の參列者に對する注意事項左の如し

一、服裝はフロックコート同相當服の事
一、招待狀を携帶する事
一、毎年子女を同伴する向あるも右は受付に於て入場を拒絕す可きを以て豫め注意ありたき事
一、當日一般の入場者は必ず總督府官邸正門より入場の事
一、從者並に各乘者等は警務總監部正門內外の指定場所に置く事

◎赤字佳節受賀

日本赤十字社朝鮮本部にては三十一日午前九時より十一時まで本部事務所に天皇皇后兩陛下の御眞影を奉安し社員の拜賀を受くることゝなれるが拜賀者の服裝は男子は制服、フロックコート、又は紋付羽織袴、女子は紋服、朝鮮人社員は相當禮裝す可しと

◎朝鮮大阪米雜穀取引協定

朝鮮穀物貿易商代表員と在大阪朝鮮貿易商同業組合輸入部代表員との間に於る將來の商取引上に關する協議會の開催は十月二十日二十一日の兩日大阪にて開催左の如く朝鮮の提案並に大阪の提案を協定したり

▲朝鮮側の提案

□第一 本船乘及び汽車乘約定値段に據る場合 賣主の責任は荷物引換證の交附を受けたる時を以て終了するものとし本船の費用は一切賣主の負擔とす本船仕向地解船保險料及び荷爲替の日步其他本船又は貨車積込み迄の費用は總て買主の負擔とす

決議原案可決

□第二 本船沖著汽車驛著約定値に據る場合 買主の責任は本船が仕向地に入港の時又は貨車が仕向驛に到著の時を以て終了するものとす本船積は本船の運賃及び仕向地解船費（解船賃を除く）迄の海上保險料は賣主の負擔とす汽車積は貨車の運賃及び運送保險料は賣主の負擔とし本船又は貨車到著以後の費用は總て買主の負擔とす

決議左の如く訂正可決す

賣主の責任は本船が仕向地に入港の時又は貨車が仕向驛に到著の時を以て終了するものとす船積は本船の運賃爲替日步及び仕向地解船費（解船賃を除く）迄の海上保險料及び陸揚後一週間の陸上火災保險料を賣主の負擔とす汽車積は貨車の運賃爲替日步及び運送保險料並に驛著後一週間の陸上火災保險料は賣主の負擔とす本船又は汽車到著以後の各項費用は總て買主の負擔とす若し陸上火災保險を附せざる貨物にして故障を生じたる時は荷受主は依託買付共其責に任せざるものとす

□第三 輸移出税は總て賣主の負擔とす輸移入税は買主の負擔とす

但し稅關の設置無き土地より輸移出の場合に於ける輸移出稅は此限りにあらず

決議原案可決

□第四 買付註文に對する場合 買付註文により買約は成立し其後に於て不可抗力の爲め延著するか又は相場の低落ある場合は賣方に於て其損害に對し辨償又は値引を爲さゞるものとす

決議左の如く訂正可決

買付註文により買付承諾の通知を發したる時を以て契約は成立し其後に於て不可抗力の爲め延著したる場合賣方に於て其損害に對し辨償又は値引を爲さゞるものとす

□第五 取引上紛議を生じたる場合 賣買當事者間に於て示談整はざる時は同業者の團體をして調停せしむ

決議原案可決

□第六 穀物內地取引に就て契約成立さ同時に一割以上の手金を受くること

決議次期協議會迄宿題とす

□第七 內地各港に於ける陸揚及荷捌き場所一定に關する件（決議本案は大阪に於ける荷揚設備は未完成に付第一第二項可決したるを以て當分見合す）

▲大阪側の提案

□第一 手附金提供に關する件は協議を希望す本問題は期して信用の保證に關するものにして一般的決定は期し難し若し必要と認むるものある時は個人間に於て特別契約を締結する事としたし

決議

朝鮮提案第六項と同案なるを以て自然消滅

□第二 契約濟のものにして積出前に於て相場に高低を生じたる時は其向きのものより積入を爲すの習慣あるを認む之等の惡習慣は絕對に一掃し乃ち契約せられたし若し商ひ順位により今後積出しを實行せしむる場合ある時は買受人は直ちに契約を解除し其の時價により損害を請求す（以下略）

決議原案可決

□第三 移入貨物に對しては沖著の場合は解船保險の外海運は陸揚後鐵道驛迄は驛著後各一週間の陸上火災保險を必らず附せられたき事若し保險を附せざる貨物にして故障を生じたる時は荷受者は委托買付共其の責に任ぜざる事と承知されたし

決議 本案は朝鮮提案第二項に差加へ可決

□第四 込み枡は改良四斗叺に對し五合入れとし各地共一定せられたし

果して一定を實行せられたる時は當地に於ける受渡しは四斗建成枡を以て受渡しを了する事としたし

決議原案可決

□第五 船荷證券に荷造不良其他事故付の摘要を附したる貨物ありたる時は其の損害額は出荷主の負擔とす

決議 左の如く訂正可決

船荷證券に荷造不良又は雨中積等の摘要を附したる貨物にして實際損害ありたる場合には其の損害は出荷主の負擔とす

□第六 輸移出の貨物は三月より十月まで一ヶ月を經たる米雜穀は再檢査を受けたるものにあらざれば輸移出をなさざる事に總督府に建議致したし

決議 左の如く訂正可決

移出貨物は五月一日より十月までは一箇月を經たる米雜穀は再檢査を受けたるものに非ざれば移出をなさゞる事に總督府へ建議を爲し若し總督府が之を容れざる時は出貨主は本項により再檢査を受け移出をなすものとす

□第七 手合濟の貨物は遲くも十日を過ぐるも積出しなさゞる時は不履行者と見做す（但し特定のものは此の限りにあらず）

決議 左の如く訂正可決

手合濟の貨物は遲くも十五日以內に積送を爲し若し十五日を過ぐるも積出しをなさゞる時は不履行者と見做し買受人は直ちに契約を解除し其の時價により損害を請求すると同時に大阪朝鮮貿易商同業組合定款第三十條の實行を要求するものとす

□第八 第七案記載の手合後の貨物にして契約通り積出しを了したるものに對し買主が之れを引受けざる場合には之より生ずる損害は買主の負擔とし尙ほ大阪朝鮮貿易商同業組合定款第三十條の制裁を受くるものとす

□第九 爲替期日は本船積入後釜山十二日間木浦、群山、仁川、南浦、元山は十五日間其他は二十日間と一定し取組まれたし（但し汽車積は此の限りに非ず）

決議 原案可決

上の協定事項は大正六年十一月一日より實行する事と也しが出席せし鮮阪兩地の委員は左の如し

▲朝鮮側 委員長高橋省三（京城）委員竹中多喜吉（同）天日常次郎（同）奥田貞次郎（仁川）[illegible]

▲大阪側 委員長[illegible]

朝鮮穀物商の便益增進
取引協定と、對船會社の協定
朝鮮穀物貿易商代表委員長 高野省三氏談

大阪朝鮮米雜穀商の取引協定は二十一の兩日一瀉千里的の進行にて頗る圓滿に解決したり

▲協定書通り 二三宿題となりしものもあれど斯會合は今後毎年一回宛開會する事に略決定せしに付次回若くば其後に協定を見るべし又今回の會合は朝鮮側より各地の代表者參加し大阪側も有力者のみにて殊に玄米に關する取極めを締り次に白米に關するものゝ協定を行なひしが大體に於て玄米の取極めに準據する事となりしため結局其の協定案件は內鮮穀物業者の取引の標準ともなるべく自然東京神戶の如きは追隨して此の協定に倣ひ來るべしと思惟さる

▲朝鮮側委員 と大阪商船又右協定終了後二十二日は日本郵船尼ケ崎商船三社代表者と會商し二十三日は大阪商船專屬解船組の案內にて朝鮮船を取扱ふ[illegible]

[illegible]

▲協商提案

（一）船荷證券面に特別記載の荷物に關する條項削除のこと
（二）船荷證券面特別記載の條項中夜中積みの場合に於ける責任の除外のこと
（三）荷送船の計畫を明示せられたきこと
（四）運賃率のこと
（五）到著港の荷揚設備を完全にせられたきこと
（六）運賃の先約をせられたきこと

商議の結果前一項たる特別記載の荷揚場所削除云々の件は商人により重大問題也乃ち船會社は揚荷指定港以外の他港に積荷の荷揚をなす事ある旨の所に付從來荷主としては自己積出荷物の荷揚先に付險分不安の感ありしなりコハ『他港に於て』を削除する事となり第二項の夜中積みの場合に於ける[illegible]

▲損害責任の歸著點は從來荷主の損害に歸したるも今後は事實船會社側の手落ちによる損害は船會社に於て之れを負擔する[illegible]

▲各社の意見

一致し節五頭の到著港の荷揚設備を完全にせられたき事云々は從來朝鮮より大阪に出穀すれば自己の倉庫に收容するか倉庫會社の倉庫に收むるかの外なかりしも今回協定の結果當島組より築港に二千坪神戶棧橋より一千五百坪の餘地を出して鮮米の荷揚場所として提供する事となり加ふるに預證券を發行し金融の便を圖り得る事となりしに付此往に比し頗る朝鮮穀物商によりて有利となれり最後の

▲運賃先約

の件は船會社と對して見れば信用其他の關係上一律になし難き事情の存するあり爲めに決定に至らざりしが要するに今回の會合は總督府より本間事務官の出席もあり取引協定も對船會社の交渉も概して朝鮮側の便益を進むる事となりし次第にて委員として阪せし予等も若干快心の感を持しつゝ歸鮮せし次第なり

□揚子江を=下りつゝ=（下）
釋尾旭邦

十月十九日

▲無佛居士足下、余は今揚子江の濁流を下りつゝあり、楊子江は吾々日本人の眼には如何にしても河とは思はれず候、上海に近づくに隨ひて河幅益々廣く、殆ど海の如く、海でも我日本の內海よりは遙に廣く候、遠き兩岸には楊柳連り、蘆の繁茂り風光畵の如く、然して船は滑べるが如く走り出すも動搖せず、身の船に在るを忘れ候、途中鎭江の金山寺甘露寺を船より遙に望みしに、全く唐畵中のものに候、滿洲より北支那の殺風景に慣れし吾人には、全く別天地の觀有之候。

▲無佛居士足下、余は南京滯在中郊外に車を驅り候處、竹藪到處に連り、水田、桑畑連亘し、北支那に洽き細流幾條と無く縱橫に流れ、殆ど我內地の山陽沿線の光景に似たるもの有之候、嘗て余北支那を見て、支那の畜牧畑と殺風景とを鬪けり候處、野田大塊翁は君南支那を見よ、南京郊外を望觀せよと言ひしが、然して後ち支那を瞥見し、南支那の豊澤を察し楊子江沿岸を望み南支那の天惠多きこと、我日本以上なるに驚き候、我帝國民が、此天惠多き南支那の沃地に展びずして天惠薄き滿洲や北支那に國力と民力を集注すべく、餘儀無くされたるを遺憾と致候、滿洲と北支那は國防と政治上の上に於て、我帝國の地歩を固めざるべからず、然して經濟上に於て大に展びんとせば南支那に大努力を試みざるべからざることを我國民に警告致度候、朝鮮と滿洲經營に十年力瘁を入れし吾人は、寧ろ其惡を自ら慨まざるを得ず候。

▲無佛居士足下、余は是より上海に上陸し更に杭州、蘇州に一遊して大連に渡り、來月初迄には歸鮮可致候、非常の大急行に候、南支那は經濟上と支那の現勢を研究するに於て重要なるのみならず、歷史上文學上の古蹟多きを以て、多大の興味有之候、併し支那語を解せざる者の支那旅行、殊に支那內地の旅行は、非常の不安と困難に候、殊に昨今の如く日本貨幣一圓は支那銀の七十錢位にしか當らざる時に於ては、支那旅行は一層不便に候、今回の旅行は愉快であるが、隨分苦痛も嘗め候、殊に南京驛に於ける夜行の如きは、近年の苦痛を嘗め申候、先は早々商機あらば杭州蘇州見物を御報申上度候。

▲日池君足下、余は南京に於て明の太祖の像に謁でしに、其妖怪たる顏容は古英雄中多く見ざる奇偉の醜怪なるものに候、然して其祖の明の太祖の顏貌が此新君の顏に酷だ相似たるを想起し、思はず噴き出し申候、日新君や妖怪の點が似て居ると言はるれば甚だ不平ならんも、明の太祖に似て居ると言はるれば、餘り不名譽でも有之間敷と存じ、一筆加筆申上候

◎會議所移轉問題

京城商業會議所は府廳建物にして京城府廳事務室の狹隘を訴ふる事愈々急なると共に府側より會議所明渡方を交渉する所ありし事は既報の通りたるが會議所にては兩三日前役員會を開催し會議所定款第八章に借入金に關する件を追加する事、商業會議所新築の件、事務所移轉の件等に關して諸種凝議する所ありしが結局原案通り可決し三萬五千餘圓を投じて東拓側に地を卜し新築工事に著手し來年春より竣工の見込なりと其間會議所は東拓構內に借受け事務所を移轉の運びに至るべく內定せる由

◎畜產組合新設

朝鮮重要物產同業組合令に由り牛の生產改良及び賣買の仲介を其の業務とする畜產同業組合の設置を認可せられたるもの左の如し

▲名稱務安郡畜產同業組合▲地區全羅南道務安郡一圓▲名稱定州郡畜產同業組合▲地區平安北道定州郡一圓▲名稱求禮郡畜產同業組合▲地區全羅南道求禮郡一圓

◎辭令（二十九日附）

內務部學務局學務課兼務を命ず 總督府事務官 高武公美

◎中村檢事長歸京

京城覆審法院檢事長中村竹藏氏は本年六月渡米米國に於ける司法警察事務及び監獄制度勞働者救濟事業等を視察の上九月末日桑港發歸國の途に就き二十八日夜歸任したり

◎教育視察團出發

總督府の主催に係る滿洲學事視察團一行三十五名は二十九日午後零時三十分南大門驛發列車にて下仁の上三十日仁川出帆大連に直行す可く視察の途に就けり

◎記念品寄贈

宇佐美、國分、小原、鈴木の各長官、本田勸業模範場長、荻田總督府局長等發起となり前總督府技師中村彥氏に記念品を寄贈すべく同志に對して醵金を募集することゝなれり金額は二圓、一圓、五十錢の三種とし有志者は十一月末日までに農商工部農務課へ

人事

▲中島氏送別會 經濟研究會發起の新聞記者聯合の中島司氏送別會は廿七日夜花月に於て開催せられたるが出席者四十餘名有之三氏の送別の辭に次いで中島氏の挨拶ありたり
▲山田邦彥氏（工學博士） 二十八日夜釜山へ
▲金谷範男 二十八日夜佐世保より歸京
▲[illegible] 二十九日午前南大門
▲荒井泰治氏（貴族院議員） 廿九日朝入京
▲小瀧元司氏（鎮南浦久原製錬所長） 同上
▲松井民次郎氏（釀造家） 同上
▲永原三井物產安東支店長 二十九日朝入京

彼れ此れ

○窮すれば鈍する通り、貧乏勝の獨墺は、愈々內輪喧嘩を始む。古來夫婦喧嘩は、貧乏に起る。墺國の拗ねたるは、獨逸の橫暴に對して也。されど行く處迄行かざるべからざる兩國、因果に引かれながら、結局は泣く〳〵も、墺は生死を共にすべし。

○愛國の篝火霜と消ねて、秋風爭鑿を吹くも、平然として往來する露國民は、山河亡びても生命あり、捐ふるに足らずとなすか。其の調和條件の如き、與國を愚弄するに近きもの。實に律すべからざるの謎也。

○佛國新外務卿バルツーは、餘り名を知られたる人に非ざるも。彼は曾て、佛國の最難問題たりし三年役後復活案を成立せしめ、其の政治的生涯に、光彩を放ちし人。此の時局難に際し、新に外相の椅子を授かる、近く開會の巴里會議は、彼の手腕を試むべき、好なる試驗場たるべし。

○天下の不評を一身に負ひて、湖南に臨みし、督軍傅良佐も、到る處に起り、獨立相踵で、遂に西に勃發す。流石の彼も、省る處あるか。辭意を漏せりと傳へらる、されば湖南の騷亂も、餘りに永きには、亙らざるべし

□東京より 大塊

謠曲に題して

長き夜に長く語る高麗の悲語

秋の夜の影法師二つ面白し

對馬水道の大海戰

▽壯快なる海軍演習開始さる

島村大將統裁の下に行はるべき本年度の海軍演習は愈々二十七日より開始、佐世保軍港内に碇泊して出動命令を待ちつゝありし各艦隊は□日より

第一期演習として

佐世保軍港に於いて炭水、彈藥、糧食の積込みをなし臨戰準備を整へたる上二十八日を以て軸艦相率ゐて八代海方面に向つて出動したり、演習の編成は第一第三艦隊の主力を以て攻擊軍とし吉松大將東鄕中將等之れを率ゐ、一方防禦軍は第三艦隊及び

其他各鎮守府艦艇

を以て編成せられ八代山下の兩中將之れを率ゐ更に航空隊、潜水艇等其々兩軍に配屬せられたり、赤軍即ち攻擊軍には旗艦扶桑をはじめとして山城、安藝、薩摩、河内、攝津等の各艦、防禦軍には旗艦を榛名に次いで比叡、金剛、霧島等あり、二十九日より二日間第二期演習として各箇演習を行なひ、翌三十一日の

天長節祝日を迎へ

て愈々第三期に入り攻防兩軍に分離し吉松大將の率ゐる攻擊軍は鎮海方面に引揚げ茲に對抗運動となるべきが□軍は琉球より北上し佐世保、呉を一氣に衝かんとし赤軍艦隊は遠州灘、土佐沖に勢力を分ちて之を邀擊すべし、然して最後に對馬水道沖にて對抗戰を爲し以て勝敗を一擧に決せんとするものゝ如く、有明灣附近は飛行隊潜航艇等空中及び海中にて

盛んなる大活動を

爲すべし、亦今回は歐洲戰の教訓に鑑み各輕巡洋艦驅逐艦出動し巨艦の手足となり偵察通報及び追擊等を爲し且つ洋上の砲戰を沿岸防備にて戰術に變化あり爲めに頗る注目されつゝあり、兩軍の艦隊主力の衝突地點たる對馬水道附近は日本海々戰の戰場にて茲に於いて兩軍共勝を一氣に決せんとするものなれば兩軍入亂れ巨砲迅雷の如く轟き、盛觀を極むる事なるべし

□海軍大演習の幹部

(右端)島村統監(右上)村上中將(同中央)八代中將(同下)山下中將(左上)加藤中將(同中央)吉松大將(同下)東郷中將

◉成歡の役戰死者招魂祭

▽十一月三日松崎大尉▽の記念碑前にて擧行

二十七八年役の戰爭に於いて壯烈なる戰死を遂げたる吾が將士の招魂祭を兼ね此の程同地方有志者を以て組織せられたる成歡戰蹟保存會にては來る十一月三日午前十一時より同地松崎大尉記念碑前にて擧行すべし

◉誇れ!!同化の力

米國民の戰爭熱は高潮に達せり

京城覆審法院檢事長　中村竹藏氏談

米國に出張中なりし京城覆審法院檢事長中村竹藏氏は二十八日夜歸任したるが其視察談に曰く

余は六月上旬シャトルに到着の上各地に於ける司法警察事務及び監獄制度勞働者救濟事業等を視察しまして九月二十九日

■桑港を發　して歸朝したのであるが其間僅かに三月半に過ぎずと雖も米國の戰爭熱は白熱高潮に達して政府も國民も戰爭の終極の目的を達する爲めには如何なる犧牲も惜まぬと言ふ程緊張した時であつたから專門以外に戰爭の產む種々な

■社會現象　を研究する事を得て頗る有意義に旅程を續ける事が出來た、御承知の通り米國は自由を尊ぶ國個人主義の國として世界に名高い丈けに如何なる政治家も輿論に基礎を置き自由を原則とした政治を施さねばならぬ事になつて居るから徵兵令でも施行したならば

■忽ち國民　は反對運動を起すであらうと豫想されて居たが機運が爛熟して居た爲めか誰一人反對を稱ふる者も無ければ不平を言ふ者も無い宣戰と共に極端なる物價調節策を實行するに及んで一部資本家の間には

■怨嗟の聲　を放つ者もあつたが多數民衆は大いに是れを歡迎した殊に面白く感ぜられたのは獨逸系の米人が我等は獨逸の國民に非ずして純良なる米國の市民であると絶叫して互ひに戒め大道演說會を開いては

■米國市民　たるの光榮を說くと言ふ情態であるから當初世間で憂慮した樣な獨系の陰謀も行はれず眞に擧國一致の實を擧げる事が出來た世間では是れを目して米國政府の嚴重な警戒に依る者と見て居るが政府の警戒が如何に峻嚴を極めたとて獨系米人に眞に

■祖國を愛　するの念があつたならば決して今日の如き平穩の狀態を維持し得べきではない時と場所を問はず常に獨探が跳梁して居る筈であるが此無きは實に米國の民衆同化の力が旺盛で如何なる國民性も雜多の人種もアメリカと言ふ坩堝に投ずれば融合し同化し盡されるからである

◉龍山　天長節祝賀會

天長節奉祝に關し二十八日龍山にては町總代會議を京城府廳龍山出張所樓上に開きたるが其結果舊龍山側は三十一日午前十時より新王に於て祝賀午餐會を開き新龍山側は同日午前十時より電氣會社南方の高地にて園遊會を開き會費は共に一人五十錢宛となすことに決せし爲め新舊兩會合とも各三四百名の參加者あるべく該席上にて同夜假裝行列を擧行すべき決議をなす由又た新舊龍山、漢江通り等に活花の陳列所數箇所を設け更に各町とも必らず何事かの催しをなす事となりしも各町何れも秘密に附し目下夫々趣向を凝らし居れり猶ほ新舊龍山とも國旗球燈を各戶に掲げ新龍山は萬國旗にて市街を滿飾する筈なりと

◉一郎百畫會

洋畫家大八木一郎氏は朝鮮觀光の途次此程入京したるが今回有志の發企にて一郎百畫會を組織し來る三十三十一日の兩日南山本願寺に展覽會を開催する由當日は同氏の作品の外京城在住諸畫伯の席上揮毫もあるべしと

♣愛婦役員送別會

愛國婦人會朝鮮本部評議員小城、三木、横井、稻垣各夫人は不日滿洲に轉任に就き本部の石塚、國分、持地、久水、芳賀、山口、降尾、佐々木、豊永、小原等の各役員二十五名は二十九日正午京城ホテルに參集し前記各夫人を招待送別會を開きたり午後零時半より奈良梅の仙臺萩を聞き直ちに食堂に入り大橋主幹の挨拶ありて主客打寬ぎて歡談を交へ散會したるは午後二時頃なりき

(寫眞は左より小城井三木稻垣の各夫人)

▷外人客◁

滿鮮各地のホテルは大繁昌　對支關係が頻繁になつた爲　朝鮮通過の外人が多くなつた

朝鮮漫遊の外國人は戰前までは頗る多かつたが戰爭勃發後は少數の漫遊客と實業及び布教に從事する米露英等の諸國人とが

▽纔かに　往來するのみであるから例年程の活氣は無く外國人專門のホテルなどは寂寥を極めた者であつたが最近に至り戰爭の齎らす支那開發の機運は發展して此の方面に關係を有する

▽歐米人　にして上海北京方面や內地方面から朝鮮を通過する者が急に繁くなり朝鮮ホテルの如きは毎日三十名內外の宿泊客があつて仲々の好況を呈して居る來遊客の中最も多いのが

▽支那に　關係のある米國人で露國人も屢々見ゐるが殆んど數ふるに足りぬ程である、之れに反して滿洲方面には露國本國を逃れて來た露西亞人でホテルは一杯になり大連奉天の如きは

▽八月頃　既に部屋が無くて秋に入つてからは益々困つて居る樣子である、朝鮮の秋色を探る可くわざ／＼本國から漫遊を企てる者は殆んどないが、三月から五月頃の陽春の候を期して來遊する者は多くて此の時節は俗に言ふ

▽書入時　と言はれてホテルなどにも毎日四五十名の宿泊客がある要するに昨今朝鮮に來る歐米人は對支關係が頻繁になつた結果著しく增加したのであつて戰前の如く金剛山や其他名勝地の探勝を目的に來遊する者は殆んど稀れである

◉三名の大火傷

平北雲山郡邑北面龍淵洞農李文汝方より十月十四日午後三時半頃發火し朝鮮建一戶三棟(損害八十圓)を燒失し同八時頃鎭火せり同日家人は農事の爲め不在中家には長女妙女(九)長男化洙(五)の二兒を殘しありたるが多分燐寸を弄びたることより發火したるものゝ如くにて出火を發見したる李金氏は直ちに驅け戻り見るに二兒は猛火中に包まれ居るより長男化洙を救ひ出したるも同人も大火傷にて生命覺束なく爲めに金氏も火傷して一時門外に卒倒し次いで同里の金基恒が驅けつけて妙女を救ひ出したるが妙女は間もなく絶命したりと

◉品評會の試味

無料にて一般觀覽者に

商品陳列館樓上に開催中なる醸造品々評會にては大邱齋藤酒店及び釜山辻酒造株式會社より其の醸造に係る今回の總會に優等賞を受けたる泰平並に菱正宗口號兩清酒の寄贈を受けたるより同館横手の賣店に其兩酒所を設け無料にて一般觀覽者の試味に任し居れり

◉一家慶殺事件　第三回公判

平安南道龍岡郡龍岡邑內張乘乾外三名に係る竹中郡書記一家慶殺事件は廿六日午前十時より平壤地方法院第二號法廷に於て公判開廷したるが當日は主任遠藤檢事鎭南浦出張の都合上遠藤裁判長は

▲各被告に對し　簡單なる事實の訊問を爲し河野檢事は被告事件の證人として被害現場より被害の宅に至る間に於ける血痕の跡を認めたる龍岡邑內の小川儀八及び森壽郎松尾賞規三名の證人喚問を申請し辯護人は兇行の前夜各被告等が酒宴を爲したりと云ふ事實に付き張乘乾の妻李姓女を證人として喚問を申請したるが裁判長は合議の後

▲檢事の申請　を採用し辯護人の申請を留保する旨を告げ且つ次回公判は十一月五日開廷すべしと宣して閉廷せり前回の公判に於て被告全部が事實を否認したりとて傳へられし爲め龍岡地方に於ては不件が萬一無罪の言渡を受くるが如きことありては地方の民心に影響するところ多しと爲し當日は早朝より龍岡邑內居住の官民多數傍聽したり(平壤)

◉霰降る　大邱に

大邱地方は二十九日午前十一時三十分より約三十分に亘り米粒大の霰降ありたり(大邱特電)

◉仁川の奉祝謠會

來る三十一日天長節祝日をトし仁川の謠曲各流同好者數十名相會し仁川神社々殿に於て午前九時より午後二時まで謠曲大會を催す由なるが京城の同好者も多數出席すべし

◉大火傷

江原道春川郡西下面德斗院里杵稻淳妻崔氏は二十日午後六時半頃長男錢萬(二)の長女(七)二男(三)を連れ自宅より十町附近の火田に至り幼少の二兒は附近の小屋にて遊ばせ置き長男と共に豆取りに從事中幼兒等は燐寸を弄びたる爲め遂に發火して二兒共全身に火傷し小屋は全燒し居るを長男が發見救助したり

◉降霜

江原道麟蹄郡瑞和面本部里地方にては本月八日降霜あり目下開花中の蕎麥及び未熟小豆の被害あり且つ猪より食ひ荒さるゝこと多き爲め農民は之れが驅除を勵行中なりと

讀者文藝（一等に五十錢／附錄分を呈す）

▼物は付『厄介なものは』

○老孃(一等)　水原　述金松の島人
○金光數　會彩轉　金光數　南大門
(前記の入選者は今回南米倉町二百五番地へ新築移轉する由)

▲電車の賃拂ひ　京城　白水生
▲支那のゴタく　仁川　猿吉
▲相撲の審物　京城　山源堂
▲居候の病氣　京城　江口松花
▲若い女の顔　利川　守子
▲嫁者に廻付け　利川　花坊
▲背の者は　元山　內山深思
▲醉人の道連れ　龍山　小草

讀者課題及募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事　▲締切は一週間後　▲課題の種類

大阪期米

後場　當限　中限　先限　納會　二十二圓六十六錢　二十二圓五十錢

仁川期米

高値　安値　引値　二三〇〇　二三〇八　二三〇〇　二三〇七　二三一七　二二七〇　二三七

後場中限一節五十八錢二節十九圓五十五錢六節平均値五十六錢七十三錢〇先限一節十九圓三十九錢三

せたるが跨ぎ一錢と押し二錢を返して强硬の裡に散會せり

仁川米豆取引所

二十九日の十二月限　寄付　十九圓廿九錢

◉連絡船上陸客　廿八日

前九時釜山入港高麗丸

◉商況

東京株式特電

受渡株數三十五萬四千五百九十株代金三千四百七十二萬九千九百十圓此平均値九十七圓九十四錢

債券現物特電

公債直取引

深川正米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◉綿糸布手堅し

山崎破綻の影響だして行の整理問題持上がり救濟運動の開始が傳へ先限廿後米棉九十錢安を報じたるも人氣は今朝は

安　一圓四十錢安　一限先限は却つて小高　成行　綿布龍　七圓九十錢九龍　八圓五錢　三銘先物八圓三　十五錢

◉正米小强し

◉更に二十錢高

◉多少の悪影響

◉眼先の出穀に　尙一引締

◉砂糖は弱腰

◉金物材混沌

六十錢處　錢三オーは十三圓　ぜー十三圓八十

五十錢方引返し　洋釘

下押　亞鉛平板は更に

◉ブラシ毛類强硬

然旺盛　海外輸出依

氣配手堅く更に

◉染料類は沈靜

上進を現

◉稍白ザリ安

一二十三圓一二　十錢を唱へられて更に　二三十錢安の見當

下關相場

◉寄付　十六錢高に

十三錢の入電　二節同事三節四　止四錢高の入電　圓四十四錢と一昨　曇天前寄二十三

◉大阪の六節變らず

入電　大阪天候　二十九日前場（昂騰）

南大門の廻穀

釜山穀物（廿七日）

仁川期米

仁川米豆取引所

廿九日の十二月限

市場雜觀

白米標準値

二十三圓二十錢

小賣白米

一等白米　二十三錢五厘　二等白米　二十三錢

北濱たより

▲尙波瀾あらん

田中金兵衛商店　期米賣買の御用命は　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　電話長二八番

ナ　仲買店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目

天氣

▲十月三十日午前六時發表　北西の風　曇後晴れ

秋の石坡亭

秦　暎星

亭内に入つて見ると庭は綺麗に掃除が行届いて落葉一つ見えない。右手の家屋は扉が悉く閉められてあつて、壁や柱には白粉を塗つた板地に青い字の彫られた古風の額や聯が淋しく掛り、昔に變らぬ滿亭の紅葉は各々自分の錦を誇る樣な何となく逝いて歸らぬ主を偲ぶかの如くに見られ亭内はシーンと靜まり返つて靜寂又靜寂〻時々その靜寂を破つてのどかそうに鳴き引く村鷄の聲が遠く聽ゆるのみであつた。三人は番人の運ばれた御茶を啜りながら秋の色に醉つて暫らくウツトリしてゐたが社の兩君が閔裕植君を伴ひつゝ入つて來る姿がフト眼の前に現はれた。夫より相伴つて來た。

一行は紅葉の間を縫つて丘の東屋に登つた。見上げば眼前にツクネンと立つてゐる北岳の高峯に過ぎし昔を偲ばせる細い城壁の跡が山を縫つた樣に縦に連つてゐる。左方に奇峯は危く北漢の頂上に立ち、東屋を包んだ紅葉、黄葉は色を移して人や地に綾を織る樣であつた。

私は我を忘れてウツトリとこれらの風景に見惚れて、自然と人間の境を區別する事が出來なかつた。吾か自然か―自然が吾か―

松の間を潜つて亭後に廻れば額の上に一大巨岩が薫然と聳えてゐる。そしてその岩面には凹所あり凸所あつて一寸何かの物の象になつて見える。これは猫岩と云つてその下で昔し大院君が讀書三昧に耽つてゐた岩だそうな。そしてその岩面にチヨピリと突き出た石を龍の爪といふのだそうである。私はつく〴〵眺めて見たが何うも象の形によく似てゐる。そしてその龍の爪とやらいふ石が象の鼻先にソツクリだ。そこで私は僭越ながらも象岩と命名したくなつた。岩を背にして全庭を見下せば水こそ流れねども脚下に小さな水樓があり、緑りの松に包まれて燃ゐる樣な紅葉の色彩配合は實に何とも言盡せなかつた。

松林を一周して元の磐松の下に少憩す。西山に傾く夕陽は松の間より赤い灑光を斜に投げ、日暮れ前の淡い銀盤は北岳の上に頭を擡げて居る。かくて一路は元の途を辿り蘇峰先生の鵲巣居を訪づれ薄暮各自家路を指して歸り去た（完）

平壤より

三笑生

○平壤より一筆啓上致候。小生は毎日申報の平南支局長崔順貞君の發育の母たる君の兄嫂劉氏の還暦の祝宴に參列の爲め二十五日夜行にて下壤致候。京城の實業家中村再造、古城梅溪、林田金太郎、秋吉富太郎の四君は滿洲視察の途に上るとて打連れて上車致候。中村再造君は哈爾濱迄北行するやに申居り候

○劉氏の還暦祝宴は廿五六の兩日に亘りて頗る盛大に舉行せられ候。此の祝宴に招待を受けたるものは内鮮紳淑女合せて五百餘名に達し候。就中内地人婦人の參列者多きを見受けたり

○崔順貞君は三歳にして其嚴父を失ひ十一歳にして又た其慈母を失ひ幾くもなくして又其令兄茶氏も早世し全く寄る邊もなき捨小舟さ相成り候。此時に當り劉氏は卅年寡婦の身を以て此の孤兒の崔君を愛育し以て今日に至らしめたるもの丶由にて崔君は生の母にも勝りて其恩の深きを忘るゝこと能はず此祝宴を張りたりとて嬉し涙に咽び居り候

○小生が參列したる宴席に於ては大橋商議會頭所會頭が一同に代りて祝辭を述べられ候。其席中に於て劉氏の美徳を敘べて教唆的活き乍ら此式は決して一場の形式的舉行にあらずと存候

資金需用激增

大田地方に於ては目下米穀大豆等の出廻り漸く激增し來りたる爲め當業者の資金需要漸やく增加し來り漢城、漢湖農工兩支店共繁忙を極めつゝあり然れども貨車配給意の如くならず内地向きの荷爲替の如きも一商人にして一車の配給を得る事絶對不可能にて一口約二噸位宛に制限せられつゝある有樣の爲め當業者の苦痛一方ならずと

水難を被つた名物淺草海苔

東京から廣く捌かれる所謂淺草海苔は東京の名物として近海の羽田大井、大森、品川等がその重なる産地であるが今年はその海苔を採取するのに最も大切な粗朶が過般の暴風雨と海嘯とで例年千葉縣下の海で拵へて居たもの丶内、百六十萬株から海岸へ打揚げられ◆爲めに東京海岸に移植することが出來なくなつた一體海苔の粗朶は毎年秋の初めに植ゐることになつて居るから斯かる水難を被つてもその打撃は想つたより僅少で◆隨つて本年の新海苔もそう悲觀する程ではない栽培の初期に思ひ掛けぬ災害を受けたのであるから生産上幾分影響はあるけれどもそれとて今まで一坪に一株植ゑたものを◆一坪半に一株と云ふ比例にして養殖したならば例年と同額位の收穫があるさうだから當業者は目下極力その養殖に苦心して居る傍ら今年の淺草海苔は◆價格の點に於て少くとも騰貴することにならうが朝鮮邊の海苔需要者は强て淺草海苔を需めずとも手近に甦地を控へて居るので左まで苦痛を感じて居ない廣島海苔も大分朝鮮に來る◆廣島海苔は數年前まで品質の粗惡なるが故に常に淺草海苔の下位にあつたが今日では養殖法の研究も積まれ製造法も非常に進歩して香氣色澤共に淺草海苔に譲らぬ◆且つ今回の風水害にも全く影響を受けて居らぬからその生産額は毫も減少せずたゞ諸物價騰貴のため之もその價格は昨年に比して幾分か高値を示したが◆需要に對する供給の點では豐富なものがある聞く所に依ると東京では今回の水難で粗朶のみの被つた損害だけでも殆んど十六萬圓餘に達したそうである（大阪）

撃沈された藻寄丸

去るカナリー島附近にて敵潛航艇のために撃沈された藻寄丸に關し海軍省の大角副官は曰く『カナリー群島は亞弗利加の西北岸に在つて奈翁の流謫されたセントヘレナ島のある所、歐洲に近く無論危險區域である危險區域と云つて何處から何處迄と

◇明確に區劃する事が出來ない獨艇の活躍するに從つて何處が危險區域になるかも分らない、殊にカナリイ島は昨年の十二月三日に英國の汽艦三隻許り同群島某港に碇泊して居る時に夜中獨艇の襲撃を受けて撃沈せられた事などもあつて頗る危險な場所であるから藻寄丸も撃沈せられたと云ふのだから或は撃沈迄は行つて居ないのかも知れないが、沈没するものとして船を捨てたのであらう藻寄丸はたしか日露戰爭當時日本海軍が北海道沖で拿捕した露國の商船で船名も其事實から來たものらしい』

◇因みに同船は噸數三千七百五十六噸千九百二年英國にて建造されしものにて神戸帝國汽船會社の所有にて同地鈴木商店に傭船中のものなり之にて我商船の敵艇に撃沈されたるもの二十四隻九萬二百三十六噸なりと（東京）

◆乘組員　▲船長丹野慶作（宮城縣牡鹿郡渡波町根岸）▲一等運轉士上野三（香川縣小豆郡安田村）▲二等運轉士中村濱（愛媛縣越智郡弓削村）▲三等運轉士宮脇一雄（香川縣香川郡一宮村）▲四等運轉士末下幾治（鳥取縣西伯郡崎津村）▲機關長濱尾健藏（福井縣三方郡十村）▲一等機關士安野喜治（岡山縣岩松市大字若松）▲二等機關士岡本武治（宮城縣加美郡中新田町）▲三等機關士山口留左八（長崎縣彼杵郡福田村）外三十二名總計四十二名

不明の縊死者

廿七日午前八時頃釜山龍頭山公園共同便所内に於て二十四五の内地人男が縊死せるを掃除人夫が發見し直に釜山警察署に屆出でたるに因り警官及び醫師出張し檢屍をなしたるに縊死人は商店の手代らしく縮ネルの單衣を著し懷中には現金二十八圓十錢及び停車場へ一時預けの引換券を入れたる蟇口一個所持し何れの者とも判明せざるより停車場に在りし信玄袋を取寄せ改めしも遂に住所氏名を記せしものなく只健二よりと記せし主人及び兩親へ不都合を詫びし遺書ありしのみなれば屍體は取敢ず府廳に引渡し假埋葬に附したり

渚の砂

■俄大盡●●　下關村郷三町吉田良作さいふは四萬六千圓のボイラを横領喰抑しその金で同地西の端町の藝妓小倉市生れの久保田はつ以（二三）を落籍して黑板塀住居さ洒落れてゐる所を檢擧された

■萬引大賊●●　大分縣北海部郡臼杵町生れの野川彦造（四五）は大阪以西中國九洲朝鮮滿洲迄を股に掛けて呉服類雜貨間に數千圓の萬引をやつてゐる内門司署の手に逮捕された

■船に人魂●●　海軍大尉北畠議一郎氏は特務艦若宮丸で内地に向け玄海灘を航行中怪しい人魂の火が船に寄添ふたのを見ながら歸つて見れば夫人させ子（二二）が變死して居つたさ

■狂人の慘劇●●　和歌山縣東牟婁郡本宮町梅田多吉（五三）は二十一日俄かに發狂して實子まつ（十一）さしね（九つ）の二人を庖丁で慘殺した

■飛んだ災難●●　此の間信濃川に繋留中の新潟下城三吉所有の大日丸さいふ船が給水の爲め錨綱を切斷されて押し流された際附近に繋泊中の三隻の舟が傍杖を食つて沈沒したからさて其の持主は下城を相手取つて二十二萬圓の損害賠償訴訟を起した

■半獸の男●●　鹿兒島縣囎唹郡財部村藤村ちよ（五〇）は二十一日夕刻山路を通行中鹿兒島市荒田町生れの姫野幸四郎（三九）から辱められた上に絞殺され犯人は直ぐ捕まつた

■申譯に入水●●　愛媛縣温泉郡東井村重松うめよ（二〇）は情夫二人を有つて板挾みになり申譯の爲め廿日投身自殺した

■恐ろしい賊●●　福岡縣大牟田市外駛馬村菓子行商松浦藤七郎（六一）は前科十數犯十二年の刑を了へて出獄後二十二日大牟田市不知火町松本竹次方に忍入したが其の家の宿女多平次（八三）は強盗と聞いて驚怖の餘り氣絶して死んで終つた

■海上に落雷●●　愛媛縣南宇和郡外海村西井里志（二九）鈴田熊太郎（五〇）の兩名は十九日出漁中海上で落雷に打たれて即死した

蠶業組合設立

大田郡内の養蠶は近年非常の發達を遂げつゝあるも未だ蠶業組合の設立なき爲め同組合設立の必要あり旁々道廳に於ても同組合の準則を起草中なれば不遠其の實現を見るに至るべしと

冬著が安く出來る

一頃のやうに呉服物が高くては今年の冬は何を著ようと心配した向もありましたが近頃はドシ〳〵下るので風を引かずにすむと喜ぶ人が少くありません内地は何んな風かと云ふに

▲綿子ル　は大部分は紀州で織られます夏場は景氣が非常に好かつたので織元で調子づき澤山作りましたが秋になつて原料の綿絲相場がドカ落ちに落ち剩へ不景氣風が吹廻つたので綿ネル業者の中には破産した者が極て多い其結果矢鱈に投出した爲相場は下る一方でしたが先頃の水害で東海道線に故障が生じて荷が來ません故東京でも大阪でも割合に安くありませんでした然るに此二三日來正街が出廻つて來たので高値の時一ヤール廿四五錢の物が十一錢か十二錢に下つて了ひました此分で行くと恐くは八九錢になるかも知れません但し小賣は約二割高と見たら好いでせう

▲晒木綿　は尾張の知多が澤山織出します産地では相場の下りやうが烈しいので組合員が協議して十五日から廿五日迄織出すのを半減しました程です而も相場は引續いて下る一方で買手は何の邊迄下るか知れないと云ふ所から躊躇して居るので遂に高値の時一反一圓二十錢迄した品が今日では五十一錢に下つて了ひました

▲羅紗　は大阪で買占めをした者があつた爲莫迦々々しい高値になりましたが而して四ヤールで出來る春服が以前は二十四五圓のを四十圓から五十圓と飛上がりましたが買占屋が投出したので今は高値から三割も四割も安くなつたで春服は三十圓位で出來る時代に入りました尚茲に注意すべきは水害を受けた羅紗が澤山あります此の羅紗は眞水をかけて洗へば却て新しい物よりも美しくなるのでまませんでしたが斯の種の羅紗は持久力が著しく減じられて居ます羅紗商人の間には浸水問題が起りから餘り綺麗に見ゐる羅紗には迂濶に手は出せません

▲胡麻豆腐　胡麻を炒つて擂鉢でよく擂り別に葛を水に溶き置き生の胡麻を擂り擂鉢に入れて胡麻と一緒によく擂りまぜ葛粉を少しばかり加へて味淋、砂糖、鹽などで適宜に加減をしよくまぜて團子のやうに丸めて蒸します或は蒲鉾形にして蒸してもよろしい好みによつては胡椒をふりかけて食べます

演藝案内

京城壽町　壽座　電話五七八番　▲東京新時代劇愛澤正義一行　十月二十九日より三十日の兩日晝夜二回　佐紅氏作俠艶劇　全六場

有樂館　京城黄金町五丁目　電話落下二五九七番　▲日曜祭日晝夜二回開館　●新派悲劇「第十一編上場」

本町五丁目　稻荷座

大正館　櫻井町　電話八七三番

京城本町　壽館　電話一〇五〇番

京城明治町　浪花館　電話二六〇番

黄金館　電話二六三七六番

軍隊毛布

嘗て市場に現れたる事無き良品
先頃本社が提供せしロシア軍隊防寒用毛布の約束違を今度の暴風雨の爲倉庫の都合上更に八千組を短時日に賣放だし茶鼠大判二板續一組（無疵）原絲値段なる二圓九十五錢で御注文に應すれば此際至急（ハガキ）で申込あれ受付順に引換郵便で發送す冬になれば五圓以下では買ぬ實用品である
東京神田　東京織物仲繼店
神田振替東京七三四六番

富の道しるべ

山縣五十雄　村上唯吉共著
價十五錢　郵税二錢
京城日報社代理部

大阪で大流行の上等高貴御召と大島
何人も知る事に大丸落は近頃の大丸落は服店御部ではメチヤ〳〵に安い品を取分安品を近來買込んだ中に高貴御召縮一反三圓九十錢●別上三圓八十錢●縞大島一反三圓五十錢●別上三圓で出て居る即ち高貴御召縮一反只の二圓廿錢●別上三圓八十錢とは云ふ大人氣で馬鹿直段で非常の大人氣である内至急ハガキで男女別年齡を記入し申込めば親切に見計ひ代金引替（運賃賣費）にて送る由

梅毒藥　唯一丸

梅毒、胎毒、横根、疳瘡其他毒ある方は局所に潰瘍を生じ音聲カレ眩暈不眠に或は身體の倦怠を感じ毛髮脱落し記憶力減退し憂鬱と成り終る方は恐郁だけの手當では治りません最毒の聖藥唯一丸を御用あれば驚くべき偉効を奏し外詳細なる事は説明書を要求せられよ
唯一丸は全國有名藥店にて販賣す
定價　一週間分一圓五十錢　二週間分二圓五十錢　一ヶ月分三圓　特製分九圓　十三圓
東京牛込神樂坂上　中西葆光堂　振替千五百番

蝶の菓子

虫下だしの妙藥
ひびあかぎれやけどかんこの良藥

一夜膏

風ひきマラリヤねつさまし

熱敵　香蝶丸

到る處に支局出張所及行商員アリ
特約販賣店アリ
釜山本町壹丁目
日本一藥舘代理店

ホーカー液

色白く肌アレを防ぎ素顔の美人となる
朝夕一滴づゝ
天下一品　濃厚白味劑　家庭化粧料の元祖！
（大、中瓶は、一本宛高雅なる桐箱入なり御贈物に好適なり）
□美容効果□
▲色を白く、キメを細かにし
▲ブレを防ぎ、色艶を好くし
▲夏の日ヤケを完全に防ぐ
▲白粉下、トキ水によく
▲子供衆の皮膚を丈夫にし
▲生れつき色が白い様に見せ
▲紳士の髭そり後に適す

定價		送料
大瓶	八十錢	内地
中瓶	四十錢	無料
小瓶	二十錢	料錢

著し最寄の店に品切れの節は本舖宛直接振替又は三錢切手代用にて御注文を乞ふ
本舖　堀越嘉太郎商店
東京神田和泉橋　振替東京一五六番
電話神田特長一四三長一四四　一四五

耐火煉瓦

▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）
▲シヤモツト煉瓦（三十番より三十四番）
▲ダイナス煉瓦　▲ヤケネレヤ煉瓦
▲耐火モルター其他耐火物各種
平壤府橋口町（電話壹武五番）
合資會社　京谷商店

朝鮮釀造品評會　一等賞受領

最上醬油
ヤマキチ
京城櫻井町　大正館横
山本醬油釀造場
山本榮吉
電話二六〇一番

酒井婦人病院

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）
電話一八番　二六〇〇番
入院隨意
院長　酒井一郎

新築開業御披露

今迄の鍋道樂を改稱して一日園背景に南山あり　まつた京城の市街を一瞥する事を得る一日園のその廣い庭では園遊會も出來れば家族的にも一日樂しく遊ぶ事が出來升今や新築成りいよ〳〵開業いたしました就ては何卒今迄の御贔負の餘慶を持ちまして御遊の程願はしふ存じます
京城南山町二丁目（總督府別邸下）
（鍋道樂改）一日園
電話一四九番

池田季　イケダ小兒病内科醫院

京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目
電話（醫院一二三番　自宅八八〇番）

エルチン

梅毒有無診斷液

梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潛伏して身体の衰弱せる時に腦神經、内臟眼球、骨等總ての臟器に種々の病症となりて現るるものなり……其外部へ現れしものは治療に便なれども潛伏、遺傳、其他内臟に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲逐に適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、されば其原因の新古乃至は遺傳、潛伏の何を問はれず梅毒の疑を有する者は先づ醫師に就てルエチンの注射を試みられよ其有無直に判明して疑問は速に解決すべし
本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワッセルマン氏の反應より遙に鋭敏確實且つ簡易なる注射を以て殆と百%に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり
説明書あり申込第次送程す
發賣元　東京京橋區南傳馬町三　星製藥株式會社
關西代理店　大阪東區道修町三　小西喜兵衛

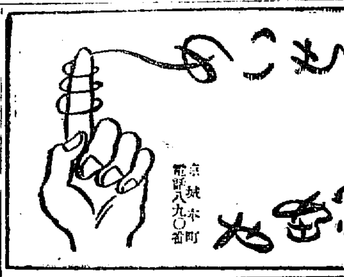
京城日報　（寄付買物多く三十三錢と上伸し……）
（大阪）米穀取引所　十九圓二十九錢　十九圓三十一錢　十九圓三十九錢　十九圓三十七錢　十九圓四十五錢
▲京城溫度（十月廿九日正午）　測候所　京城　攝氏　九度五分

左甚五郎

第六十九席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

三五郎は其夜刻限になりましたから大きな……風呂敷を持つて參りました、甚五郎は直に能く包んで見えない樣にして 甚『さア棟梁是をお持ちなさい』三『何うも有難う存じました、何れお禮には改めて上ります』甚『イヤそんなことは御心配なく』と是を貰つて歸つた、翌日に相成りまするど作事係へ愈々出來いたしたといふことを届けました、坂本春重の方は既に取付けありますから 本『それでは直に持つて來る樣に』三『ヘエ畏りました』と持つて出た、本淨寺下檢分をしてそれを取付けさせやうと、麻風呂敷へ包で確り結いてあるのを解いて是を本淨寺が見て 本『三五郎』三『ヘエ』本『是は何だ』三『ヘエ』本『こんな物が取付けになるか、如何程急いだからと申して是は何だ龍か』三『ヘエ』本『お前は龍のつもりで拵へたのであらうが、まるで是はシャコだ』三『エッ』と云つたが三五郎も驚いた、龍とシャコと間違る樣な物を拵へさうもないのだと呆氣にとられたが、心中にあゝ他人の仕事だと思つて口ぢやア體裁の宜いことを云つて居て、甚五郎は宜い加減なことをしたんだらうと何うも驚いた 本『こんな物が取付けになるか、それだによつて御本山からお指圖通り春重にさせて置けば宜い、檀家の者を賴みなぞいたして當山へも迷惑をかけ、此の本淨寺も據ろなく仕事を割つてさせるといふことになつたが是では叶ん、又檀家の衆へも其の話しをするからもう仕事にかゝるには及ばぬ、明日から下小屋へお前の方の職人を入れるには及ばない、坂本一手にさせろ、然う思ひなさい、こんな物が取付けになるものぢやアない』と本淨寺はプン／＼怒つた、三五郎は己れが拵へた物ではないのだから餘りのことに 三『エー洵に相濟みませんでございました』と悄然として歸ることに相成りました、偖此方は甚五郎、影ながら門跡棟梁は納めて取り付けをしまつたかしら、どんな鹽梅かと心配をして居りまするが、持つて行つたきり何とも云つて來ない 甚『成程人間は勝手なもので、仕事をさして置くと時にはチョイ／＼訪ねて來たけれども、もう納めてしまつたら、禮に來なくつても宜いが、斯ういふ譯で斯うなりましたと挨拶位には來さうなもんだ、三五郎といふ男も勝手な人だ』と甚五郎のことであるから口へ出しては云はないが 甚『あゝそれに就て唐破風の懸魚の龍がどんな鹽梅か後學の爲に京都大工の坂本春重が彫上げになつた懸魚の龍といふのを一ッ見て來やう』と仕事には却々熱心の男ですから、自分の仕事を見又他人の仕事を後學の爲といふのでブラリと諏訪町の家を出で門跡樣へ來て春重の取付けた龍を見ると、流石は京都大工能く出來て居る 甚『旨いね、成程上方大工は彫物は得手だ旨く出來て居る』と頻りに往つて見て感心をした 甚『然し只木彫だけのことで何も生た心の入つて居ないやうな物は手本にしても可けねえ』と甚五郎來た序だから用原町の方は未だ取付ねえかと來て見ると、取付るのだか取付ないのだか形無し、春重の下小屋は賑にトンカチ／＼遣つて居るが、三五郎の方の下小屋は火の消た樣に誰も仕事にかゝつて居る樣子もない 甚『オヤ／＼何うしたことか、今日は休んだのかしら、棟梁も職人も手を束ねて休むといふのは何かあつたのかしら』と是から三五郎の家は程近い清島町、逆ものことに訪ねて見やうと、甚五郎直に清島町の門跡棟梁三五郎の家へ參つて見ると、驚いたのは、貸家の札が貼てありました。



今日の運勢 十月卅一日九星 舊九月十六日丙午 本命九紫 南成赤口

▲九紫● 一寸爪彈きさるゝ事有日新事見合西方は吉事刺激▲一白● 人にこまらせの事有日新の手術事は吉一切のせわ事せのがよし▲二黑● 想懐に叶ひ日韓居人券會談名望求 職祿上昇▲三碧● 女て嬉な職業養子女を迎ゐる等萬吉▲四綠● 力を附す日韓居行に入門名望求得る日轉居開業等皆遊で利有女子は一層よき事有▲五黃● 開運利職命件婚禮試驗を受る等萬吉▲六白● 遊の日轉居開業等皆吉殊に女子の悲業等榮え計るに妙▲七赤● 賞ての事有日新の手數等は吉謹み禮義を守らるべし▲八白● 光榮の日轉居入學命件求職等は吉一切のかけ事を禁す 逃れる事有日新の手數等は吉 婚姻祝 其他利用業等萬吉

寫眞
官衙貴出張撮影
寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速を旨とし御高需に可應候
京城日報社寫眞製版部

花柳病 外科 專門
●梅毒●淋病●泌尿生殖器病●睾丸病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱●ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院
電話三〇六五番

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

汽車 京釜線（南行）（北行） 京義線 湖南線（南行）（北行） 京元線（北行）（南行） 京仁線 [illegible]

御料 御園白粉

秋になれば皮膚の荒れるのは自然の作用です。之れを防ぐには至つて簡單で、朝夕の洗面後、入浴後及就寢前の三回に皮膚を柔らげ肌理を細かく滑らかにする特効ある化粧水御園四季の花を塗け、白粉は申迄もなく御園白粉をお用ゐ遊ばす丈けで何時も美くしい艶々とした御姿を保つ事が出來ます。

高尚な濃化粧

濃化粧をなさる時には品質の良い白粉をお選びしなくてはなりません。粗惡い白粉で御化粧しますと、白粉が斑に着いたり粧けた後で斑點く光つたりして誠に見惡いものです。濃化粧專用の白粉下御園の露の極く少量を額から顔にかけて斑なく均で込み、襟から頸には濃化粧用御園固煉白粉を用ゐ、御顔には普通の御園煉白粉を粧、更に仕上化粧として粉白粉御園ほそ白粉を備付のポットに含ませて輕く刷き粧ますと、眞から色白の生々とした美しい濃化粧が出來ます。

御料御園白粉本鋪 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

(2453)

桃谷研究試驗所製

にきびとり

美顔水

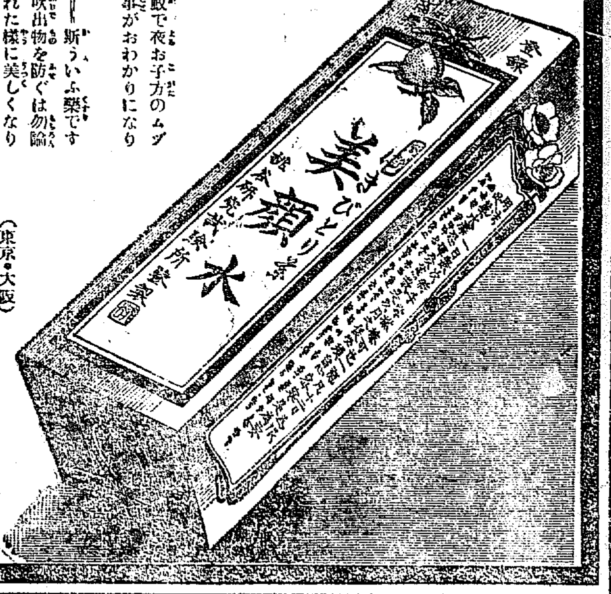
心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衛生薬

(一)ニキビ、吹出物＝婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は頑固なニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。

(二)蚤、蚊、南京虫＝其他毒のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺わず、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。

(三)皮膚を美しくす＝斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり一容貌の美を增す力が强いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります。

（定價特大瓶壹圓・大瓶五拾錢・中瓶廿五錢・小瓶拾貳錢）



發賣元（東京・大阪）桃谷順天館

内科 胃腸病科
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話 [illegible]

優等清酒
一鶴
黃金町百九十一番地（若草町四ツ角）
發賣元
本莊酒店
電話六五四番 振替京城六二〇番

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所
龍山元町二丁目 電話一八〇
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

中央婦人病院
京城明治町二丁目（元漢城病院下横通）電話二三四〇番 院長 [illegible]

京城日報
第三版
十三日朝刊（朝夕刊併せて八頁）
本紙定價　一ヶ月金[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　奧川直次
印刷人　小川三之介
發行所　京城大平通一丁目　京城日報社
電話　[illegible]

[illegible]四き狀態を擧げざるべからず[illegible]證明する處に依れば此の現狀を以てせば今年十一月には全鐵道[illegible]く其逆轉を中止するの止むなきに至るべし今や[illegible]を用なさざる貨車[illegible]

[illegible]避に吾人[illegible]勿論第一として之れを救はんとするは偉大なる工業の[illegible]力を俟つの外なくこは又鐵道の[illegible]當然の義務なれども之[illegible]の原因に求むるは木に據[illegible]

[illegible]決定せり固よりこれ[illegible]くも一國の鐵道運輸救濟と謂ふが如き大問題なれば此全諸[illegible]工場主の奮起は到底個人の力を以て仕能はざる難事を敢てするにおいては

[illegible]じ然る後其の組合員の各製造能力に應じて配せんとするに有り[illegible]して茲に一つの問題とするところは勢力及び原料の供給關係なるが先づ第一の困難として政府との契約[illegible]を經て成る定額の利益を得[illegible]に過ぎず事業自らは政府間接の下に行はれ又は其の監督の下に行はるものにして必ずしも個人的性のものに非ず實に此擧たるや

[illegible]組合に加入せる重なるものはブロム[illegible]シス兄弟機械商パリ商會ドウスク商會ツリヨウルク貨車製造工場等なり第一に取掛るべき仕事は貨車の修繕及び製造にして次に客車機關車の修理製造に移るべく同組合[illegible]救ひ得らるゝ[illegible]光な[illegible]

◉慶北堰伏改修

慶尙北道にては各郡に亙り堰伏改修工事を爲しつゝあるが今回更に漆谷、星州、英陽、義城、安東、榮州の六郡に（一〇、二（深道））波大池、元塘池、永見伏（若[illegible]面）[illegible]▲義城郡（住吾面）長提（鳳陽面）麻田堤、安谷堤（北安面）現洞提、莊岩提（安平面）西方堤（龜川面）新堤（丹北面）棂堤▲安東郡（一直面）安溪堤▲南安溪堤（豐山面）校谷堤▲

支那漫遊

扇芳亭

蘇峯生

人皆な曰く、大連の扇芳亭は、此地第一の旗亭なりと。蓋し公評ならむ。予自ら往て觀る能はざるも、亭の主人岩間芳松氏は、夙に予を新聞せり。惟ふに君が『國民新聞』と因縁淺からざるが爲めならむ。今を去る二十六七年前、扇芳亭の東京、新橋烏森にありしや、無慮なる予等は、何れも其の名物料理蘇峯汁に、舌鼓を打てり。爾來明治三十八年九月、燒打事件前夜の會に至る迄、吾社同人の集會は、概ね此處にて催されたりし也。扇芳亭や、初め微に、中ろ盛に、而して頓挫し、更に大連に於て、大に興れり。予等當日の歷史を知るもの、焉んぞ其の今日あるを、祝せざるを得ん哉。但だ憾らくは彼に於ては、當時の女將已に逝き、而して吾に於ては、栗原日雲居士の墓木拱せるを。

岩間氏頃ろ高壇の地を卜し、其の別莊を經營せんとし、書を予に請ふ。筆硯固より予が任ずる所にあらず、されど蕭好辭す可らず。乃ち『遼東第一樓』の五大字を書して其の需に應ず。彼曰く、某本年六十二歲、樂隱居望む所にあらず、錢を溜めんとしても、思ふ樣に溜まるものにあらず。願くは精根の續く限り、働かんのみと。予其の志を嘉みし、更らに數紙を書して、之を與へたり。彼曰く、殘念なるは、先妻を亡うて、今日あるを見せしむる能はざりし一事なりと。然り彼等夫婦は、扇芳亭帝國を樹立するに於て、實に協力者たりし也。

大正六年十月九日午後六時半、晩餐の銅鑼を聞きつゝ、大連大和ホテルに於て

吸口製造機の發明

＝紙卷煙草の＝

渡邊彰

予は此程本派本願寺別院の輪番松原含藏師より一の快報を耳にしたり。當時、既に知名の諸賢には其々吹聽したれども、尙ほ文藻とかして汎く世上に紹介し各種の發明に志篤き人々に此稀を頒たむとす。松原含藏師の齎らせる快報の內容は、其の門徒の一員たる吉田茂七氏が紙卷煙草吸口製造機の發明の功を奏して、特許局より特許狀を下付せられたる一事是なり。

抑も、現今の工業界に於ける、一般の趨勢は、事業の種類を問はず機械力を用ゐて、手工力を省き、又作業の費用を減じて、成るべく安價の物品を需用者に提供せむと努むるが故に、機械の發明者は、何れの方面にも歡迎せられ、勸誘の報酬は、其の發明に係る機械の利用者より之を受け又學術界よりは、先進奏功者として、推重せらるゝを常とすれども、吉田茂七氏の發心の動機は、此の營利心、又は功名心を根柢とせるにあらず。是れ此の場合に於て發明者の心事を特に說明するの要ある所以也。

首題の機械發明者吉田茂七氏は、神山郡江通十六番地に住みて鐵工を業とし、一向專念の宗旨を奉ずる人なるが、其の一念凝結して、機械發明の方面に傾注するに至りたる動機は畏くも　今上陛下にかせられては、朝鮮產の煙草を御に召させたまふと拜聞し、何卒して人智人力の及ぶ限り、淸淨なる精製法を用ゐて、之を獻上すべき工夫を仕遂げたきものと發心し、數年一日の如く、工夫に工夫を凝し、遂に特許權を享有するに至りたるものなり。是れ王法爲本を宗制とし、皇上推戴を本旨として、數萬の門徒を提誨する松原含藏師が、得々として予に告知せられたる所以なるべし。然れども、發明者吉田茂七氏は發明に就ての初一念を一貫する爲に、適當の機會に於て、一度朝鮮產の煙草を、御料用に精製する場合に使用するを[illegible]たる後にあらざれば、假令需用者あるも機械の賣出を爲さずと誓ひ居れり。是れ洵に理義の一貫せる者と云ふべきなり。而して、吉田茂七氏が發明せる機械の作用に依りて、紙卷煙草の吸口を製造する方法次第を細かに說明することは、工學的智識に乏しき予が能ふにあらざれば、玆には極めて外觀的の大要を述べ只現在の作業方法に依て製造すると吉田式紙卷煙草吸口製造機に依りて製造するものとを比較し、其何れが便にして、何れが利なるやを批判せむとす。而して吉田式紙卷煙草吸口製造機は鐵を鍛鍊して組立たる巧妙なる輪轉機なりと云ふ外に予は智識を有せず。

抑も現行の紙卷煙草製造の作業法に依れば、紙卷煙草の吸口に中貫として差込む原料は、厚紙なれども、吉田式の機械を用ゐるときは、厚紙に換るにポプラ材を一定の寸法に剝み、更に機械力に依りて薄く滑らかに精製せる經木を以て、せむとするものなり。故に此の機械の發明は、偶ポプラ材の用途を增加せる一因をなせるものと云ふべし。而して此の厚紙代用のポプラ經木は如何にして製造するかと云ふに、先づポプラの材木を紙卷煙草吸口に差込む厚紙の長さと匹對すべき寸法の木片となし、之を機械中一定の裝置を爲せる場所に差置き輪轉するときは機械力に依りて經木となり渦卷となりて一定の場所に至れば、小穴ありて其の小穴より逐次送り出し人工に依りて差込むよりも神速巧妙に差込みを成就するものなり。右は只大體の說明を試みたるに過ぎざれば、讀者は必ず說明としての價値なきを憾むなるべし。然れども、工學上の智識を有せざる予は是以上の解說をなすこと能はず。若し夫れ詳細の狀況を知らむと欲する篤志家は、機械發明者に就て說明を求め、若しくは發明者が機械を運用する實況を見聞するを以て便利なりとす

誰 (109)

布施生譯

賴太郎は言を繼いで、『僕は眞正に駄目ですよ。幸福の神樣は直手の屆く坐右まで來て彼在るのに手を延ばしてそれに縋りながら一生を過す筈の者が却つて初から母樣に御苦勞の種となりました。今となつてはもう取り返しがつきません』。『何を言ふのです、何をしたからつて取返しがつかない事があるもんですか』。『駄目ですく、もう駄目なんです、僕は何度もく行を改めやうと決心しながら度もく其決心を破つてゐるんです。此樣事は決してしないぞと思つたのは今日に限つた事ぢや有りません、いつも何か良い事をしやうく思ひながら其場になると、いつも忘れて仕舞ふのです、僕は意志薄弱です、僕の心は良いんですが行が惡いのです、僕は眞正に吾と吾身に愛想がつきます』。賴太郎は極り惡さを紛らすやうに附元氣の大笑をして『しかしそれも最早今日でお仕舞です』。聞いてゐる母はもう狂氣のやうになつて『どうしたのです、一體どうしたと云ふのです、私に言つてお聞かせ、聞けば又何とかなりますよ』。賴太郎は今若し眞實を打話したら母がどんなに心を痛めるだらうかとそれを案じるやうな樣振で暫く口籠つた後、『實は破滅の時が參りました』『破滅ですつて』。『はい、もう何とも仕樣がないのです、實は飛んだ事をやりました、それでね』。賴太郎はこゝで胸が迫つて物が言へぬかの如くに言を斷つて仕舞つた『これ賴太郎』『一母樣御免なさい、しかし考へると只今死んだ方が家の名に瑕が附かなくて幸です、僕なんか實際生きてゐるのが間違です、生れてきたのが抑々間違なんです。僕が居る爲に母樣に御心配ばかりかけるのですもの』『何だつてそんな事を云ふのです、何か私が氣に障る事でもしましたかね』『どう致しまして勿體ない、母樣僕はもう死にますよ』『え、』『死にますよ、もう此恥を曝すのは厭ですから』『まあ一體どんな事をしたのです』。

○雜誌抄

△燐光と螢光△（極東時報）

▼燐光● 或る物の石、就中金剛石を太陽の光線に曝して後ち之を暗い所に移せば、十時間微光を放つことは遠く昔から知られてゐたのである。之は十七世紀の初めボローニャの工匠で金の鍊金術を研究せる人が此大事業を遂ぐる爲に大窯を作る時、偶々非常に重き石に觸れたことがある。鍊金法によつて此大石を熱せしに石灰となり、不思議にも暗所に光を放つことが分つた。是れ實に硫酸重土に外ならぬのである。

▼螢光● ウラニン或は硫酸キニンの溶液を入れたガラス瓶に紫光線又は紫外線を當てると發光する現象を螢光と稱するのである。燐光は光を與ふることを止めても尙ほ暫時光を放つが螢光は光を與ふることを止めると直に熄むのである。玆に一見不思議だが併し行するにも容易な[illegible]の皮片を投入せば、太陽に曝綴せる水[illegible]エスキユリンは水の爲に溶解せられ[illegible]長き[illegible]となり螢光を放つて[illegible]が見ゆる。今黃色ガラス板で光を遮ぎれば光線は單に黃色に限らるゝから[illegible]に分るのである

生活

十一月號

英雄的行動
老後の精力三大事業　澤柳政太郎
人物に非ざる說外の一二閨秀
實際より觀たる上の比較　大隈老侯
成金氣焰錄
成金物語（序說）
稚弱の時代
廢滅の時代
犯罪增加の傾向
モルモン教
骨董品の裏面
鼻の病氣と療法

東京　博文館

婦人公論

戀愛と結婚の關係を論ず（日本の女といふ女は此大論文を一讀すべし）
家庭は西洋も東洋も同じである
日本婦人の活動すべき時は今
繪を見に行く人へ　笹川臨風
舞踊をお勸めする　坪內士行
木花を賣る婦人が街を高くする法に就て
花の日會の可否　諸家
食物の話　近藤教授
主婦の是非を論ずべきもの
不思議な緣談と結婚
仲人物語　中川愛氷
水の中に明した恐しい一夜
交戰國婦人の目醒しい活動
夫の無情を怨んで愛兒を殺した女
玉藻の前　長編小說　岡本綺堂
秘めたる戀　德田秋聲
女人神聖　谷崎潤一郎

東京市京橋區　中央公論社

わた
大下落
品入荷
（メリヤス）綿部
京城　電一〇九一

醫學士二宮亮吉閱　矢野國太郎編
朝鮮の冬と防寒法
京城本町　大阪屋號書店

和文 鮮文　面制義解　全
宇佐美長官閣下序　吉田英三郎君著　田中德太郎君譯
定價六十錢　郵稅六錢
本書は面制及同施行規則の逐條解說なり
本書は當局者の嚴密なる校閱を請ひたり
印刷部數に限りあり至急申込まれたし
京城永樂町二丁目　研究會

公告

櫻山鑛業株式會社ハ大正六年十月二十三日株主總會ノ決議ニ依リ本日解散シタルニ付キ同會社ニ對シ債權ヲ有スル方ハ大正六年十二月三十一日迄ニ淸算人ニ對シ其債權ヲ御申出相成度若シ右期間中ニ御申出無之ニ於テハ淸算ヨリ除斥セラルヘク候此段商法第二百三十四條民法第七十九條ニ依リ公告仕候

大正六年十月二十三日
朝鮮忠淸南道天安郡笠場面良岱里
櫻山鑛業株式會社淸算事務所
淸算人　ビー、アール、グーリー
同　ゼー、ゼー、ヘンリー
同　八十島親德

吸入瓦斯發動機　中古
五馬力、十五馬力より各種在庫
（定價表進呈）
精米機
モートル
割引持價販賣
佐賀唐人町　丸三商會

遞信局
購買
今般遞信局總督府（郵）に關する經書其他外六點入札に付す
詳細は遞信局[illegible]

朝鮮郵船株式會社
第拾壹回決算報告
（自大正六年四月一日至大正六年九月三十日）

借方之部

科目	金額
拂込未濟株金	[illegible]
船舶代價	[illegible]
所有地代價	[illegible]
建物代價	[illegible]
什器	[illegible]
保證金代用有價證券	[illegible]
未經過保險料	[illegible]
貸金	[illegible]
銀行勘定	[illegible]
支店勘定	[illegible]
代理店勘定	[illegible]
合計	[illegible]

貸方之部

科目	金額
株金	[illegible]
船舶大修繕積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
現金	[illegible]
假受金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金處分

科目	金額
前期繰越金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
合計	[illegible]
準備積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
役員賞與金	[illegible]
從業員臨時手當金	[illegible]
配當平均準備積立金	[illegible]
配當金（年七朱）	[illegible]
臨時特別配當金（年參朱）	[illegible]
後期へ繰越高	[illegible]

右之通候也
大正六年十月廿九日

取締役社長　原田金之祐
專務取締役　吉田秀次郎
取締役　大池忠助
取締役　堀力太郎
取締役　上谷縫
監査役　山口太兵衞
相談役　男爵　近藤廉平

右取締役ノ提出ニ係ル書類ヲ調査シ正確ナルヲ認メ茲ニ報告候也

一九一八年海外新聞

雜誌豫約期

現代生活の要件は世界の新聞雜誌の汎讀也

輸送の困難なる時迅速なる申込は最も安全也

見本店頭に陳列致候間御一覽被下度改訂目錄御照會次第進呈仕候

東京日本橋通
丸善株式會社
大阪心齋橋筋　京都三條通　福岡上西町　仙臺國分町

朝鮮釀造品評會
壹等賞受領

京城蓬萊町
發賣元　三巴酒造株式會社
電話長一〇六七番
振替京城六一八番
太田出張所　電話長二五番
平壤出張所　電話長五一一番

學生
十一月號
定價二十五錢　郵稅二錢

西鄉隆盛　大町桂月
一高の怪少年　三宅博士
南米の黃金國　[illegible]
都市田園優劣論　[illegible]
英文クロヒメ　[illegible]
學生英字　[illegible]
東京號（國民は首都を知るを要す）（本號には其面目躍如たり）
古今東京詩選
有史以前の東京　鳥居龍藏
中世の江戸　田中博士
開府後の江戸　辻博士
東京の現代物語　[illegible]
最近半世紀の東京
東京の地理的觀察
國民必讀の大文字
修學旅行は野外教育也
近代學生の崇拜人物　橫井春野
白河の關　大町桂月
懸賞新案考
流浪の廢帝　一記者
學生漫畫　一平其他
ヴェルダン上空の追擊戰　磯部少佐

東京　冨山房

北京公使團會議

二十六日北京に於て公使團會議を開き第一、天津水害善後策に對し各國は好意的に援助を與ふること、第二、關稅改正に關し意見を交換することを議し更に和蘭公使は在北京獨墺兵營を公使館の財產と認め和蘭がこれを管理することを正當とすと主張せるが第二の問題の決定は次回に讓ることゝしたり（北京特電）

强硬手段と免黜

北京政府は二十七日午後三時閣議を開き對廣東問題に就き協議したる結果愈よ强硬手段を執ることに決し閣員打揃ひて馮總統に謁見し右の命令を發せり（北京特電）

廣東督軍陳炳焜は自主を宣言し孫文等が廣東地方に僞政府及び僞國會を設立せしに拘はらず該督軍は甘んじて逆を擁にせしめ國家を擾亂す亡狀實に極まるを以て陳炳焜の職を奪ひ查辦せしめ廣東省長李耀漢を廣東督軍兼任に李福林を廣惠鎭守使に莫擎宇を軍務會辦に任命し陳炳焜一派の廣惠鎭守使莫榮新を免職す

長春城內又動搖

吉林兵一營二十八日朝長春に到著直ちに伊通縣に向ひ出發したるが後續部隊有る模樣なり、長春城內は再び動搖を來し錢舖は取引を停止せり（奉天特電）

吉林軍々備嚴重

吉林軍は北京政府が高壓的準備の成ると同時に最後の手段に出づべきを疑ひ愈軍備を嚴にし奉天境界の警戒に努め居れり（奉天特電）

□小額紙幣發行勅令

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ小額紙幣發行ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名御璽

大正六年十月二十九日

各大臣副署

吉林軍對南方聯絡說

吉林獨立軍は南方派との脈絡ありとの風說あり（奉天特電）

伊軍悲慘の敗北

本月二十八日發表伊國公報に曰く我が第二軍團中の若干部隊は卑怯にも戰はずして退却し或は敵に降伏して抵抗せざりし爲めジユリアン戰線上の我が左翼は獨墺軍の爲に突破せらるゝの已む無きに至り他の諸軍隊の勇敢なる奮鬪も慘にも我が祖國の神聖なる領土に進出せる敵を防止する能はざりき我が軍は既定の計畫に基き今や我が戰線を撤退しつゝあり尙放棄したる地方の軍需品貯藏庫は全部破壞せられたり過去二個年半內に我が勇敢なる軍隊が勝利を收めたる數多の戰鬪の記錄は以て我が國の名譽と安全とを托さるゝ我が軍隊が如何にして其義務を全うさるかを知る旨を軍司令官に對して確證するに足れり（羅馬電報）

小額紙幣發行條令

二十九日勅令第二百三號を以て勅令第二百二號の小額紙幣の形式を左の如く發表されたり（東京特電）

第一條 政府は補助銀貨に代用するため臨時必要に從ひ五十錢二十錢及び十錢の小額紙幣を發行することを得

第二條 政府は小額紙幣發行高に對し同額の通貨を以て其引換への準備に充て日本銀行をして之を保管せしむ

第三條 小額紙幣は十圓までを限り法貨として通用す

第四條 小額紙幣は通貨を以て之を引換ふ、小額紙幣は日本銀行本支店に於て之を引換ふべし但五圓に滿たざる端數は引換へ通貨の到達すべき時間內引換へを延期することを得

第五條 小額紙幣の形式は勅令を以て之を定む

第六條 小額紙幣の發行、銷却及び損傷紙幣の引換へに關する規程は大藏大臣之を定む

『附則』本令は公布の日より施行す、小額紙幣は講和條約公布の日より一年を經過したる後は之を發行せず

大限氏一行北上

大限[illegible]氏一行は二十九日朝京元線に[illegible]（奉天特電）

入江書記官著奉

入江拓殖局書記官は二十八日夜來奉大和ホテルに入れり（奉天特電）

[illegible]爲めたる上歸京の筈なり（大連特電）

田島課長去來

田島八幡[illegible]

關門鐵道計畫

中村精七郎、杉山茂丸氏等の發企にて資本金一千四百五十萬圓の關門聯絡海底鐵道敷設計畫あり下關川外關後路を起點とし豐浦郡彥島に渡り福浦灣の一端より海底を貫通して福岡縣大里に出で赤阪附近にて九州本線に聯絡するものなり（大阪特電）

□皇后陛下行啓

皇后陛下には二十九日午前九時上野公園に開催中なる文部省美術展覽會に行啓あり各室御巡覽の後日本畫各審查員及び今年の特選者鏑木淸方、平福百穗氏等の御前揮毫を御覽あり夫より美術協會に成らせられ各室御巡覽午後三時御機嫌麗はしく還啓あらせられたり（東京特電）

露國留低落

露國留は二十九日我百圓に對する換算六百五十留に低落せり（大阪特電）

綿糸界閑散

綿絲界は今後の成行きに氣迷ひ現物の取引閑散を極め居れり（大阪特電）

西國公使渡鮮

東京駐在西班牙公使ジエーカルロ氏一行四名は狩獵のため朝鮮に向け出發せり（東京特電）

長岡中將大連著

長岡陸軍中將は二十九日午前八時大連著大和ホテルに入れり（大連特電）

石塚總裁動靜

石塚東拓總裁一行は二十九日午前七時五十分大連發列車にて旅順に向へり宮尾民政長官は當日午餐會を開きて石塚總裁一行を招待し同總裁は午後七時より旅順の重なる官民を晩餐會に招待せり（大連特電）

小田切氏出發

小田切正金重役は二十八日午後著奉三十日出發朝鮮經由東上の豫定なり（奉天特電）

二萬町步の水利計畫

川上東洋拓殖會社理事談

廿九日夜西鮮視察より歸京せし川上東拓理事の車中談に曰く

▲西鮮の米作 西鮮地方本年の米作は初夏の旱魃にて思つたより良くない樣である、目下收穫最中だが、朝鮮米產の主要地たる黃海道平野はどうも五分作までにも行かないらしい、予等は黃海道の內陸にも自動車を驅つたが、實に慘憺たるものがある、從つて米質も宜しくない、本年の鎭南浦米は其の移出もズット昨年などより減らうし、米の品位もよくないであらう、東拓の如きも黃海道の所有地は隨分廣いから可なり打擊であると、唯南鮮方面は作柄良好に付彼此埋め合はすると平年の一割減位になるであらう乎、平安南道は黃海道より良く、平北は又平南より優つてゐる、然し此の兩道の產米は根が大したものでない

▲延白平野の救濟 二十八日黃海道の延白平野を見た、此の平野は一望約二萬町步以上に上り土地も肥えてゐるけれども、昔しから水利の便を缺ぎ、例年旱害を受けてゐた、所が本年は實に酷い旱魃で、二萬町步からの米收は結局極めて僅かなものであらう、原と渡す所白田が多かつた、そうして水利の施設を加へぬと此の平野は生きて來ぬ、會社は約三千町步ばかり土地を有つて居り、且つ先年平野灌漑計畫は若干調査を二の案も出來てゐるから予は其の檢分旁々行つて見たのだが、何れ何等かの方法で灌漑水利工事を施す事に進むだらう、唯此の平野の水利工事は例へば五千町步とか二千町步とかに分割して設計する事は困難らしいため、愈々やるとなれば二萬町步の大部分を包容したものとする外なかろうべく非常の大工事となるであらう

▲農民の出稼ぎ 平壤兼二浦方面は諸工業の著しい手進捗で仲々景氣もよく勞働者の需要が多い本年黃海道の農民の如きは旱魃のため當然非常に困つてゐるだらうと思はるゝのだが、前述地方の勞働へ出稼ぎそれで生計の足しとしてゐるのも多い樣だ

▲大正水利故障 不二興業の平北鴨綠江岸に於ける大正水利工事は現今の所東洋一の大計畫と云つて宜しい會社より資金の供給をしてゐる關係もあり一通り視察して來た、同水利事業は此の二十五日に竣工式を擧ぐる事に諸手筈が行してゐたのだが、遺憾ながらサイホンの一故障より來た漏水のため其の擧式を明年に延期するの外なきに至つた、擧式延期の理由は單にそれだけで外に何等の原因もない、而してサイホンの漏水は此の七月の大出水時に生じた故障を近頃まで氣付かなかつたためらしく其の修理にはセメント堅めで約二十日も要るから寒くもなる式は明年に延ばしたものゝやうだ

[illegible]れるが爲め朝鮮方面に注目するもの漸次多きを加へ（全南海苔の產地たる長興莞島光陽三郡とも非常に好況を呈しそれに付高價を二割乃至[illegible]良と就て[illegible]に其製造に注意し內地式製法を以て東京海苔に劣らざるものを製するに至れば價格は更に增大すべきを以て目下道當局にては製品改[illegible]注意を加へつゝあり[illegible]

[illegible]日本銀貨百圓に對し四百九十留より五百二三十留を高下しつゝあれど日本の各銀行にては四百八十留見當にて引換へ居れり左れば[illegible]爲し居るにも拘はらず猶五割の値上要求なれば庶生の方も又浦鹽市會も其不法なる理由に應せざりしも兎に角値上要求を許し容たるも[illegible]

物價騰貴と地方經濟狀況（三）

京城商業會議所調査

▽忠淸南道

▲大田地方 米價暴騰の爲め鮮人農家は大いに潤ふる筈なるも既に賣盡し手持米なき結果六月末よりは却つて米の逆輸入を見たると粟の入ありて商價なる糧食を求むるに至り細民は窮乏の狀態に在り一方米穀商は生產者より出廻米なき爲め之又閑散の商況なり而して米價騰貴は諸物價の暴騰となり中流社會以下は家計困難を極め居るも未だ生活に窮迫せるまでには至らず內鮮人を通じて幾分購買力を減殺され月末に仕拂に於て資金の九分回收のものが八分回收位の程度となり居れり然れども現時大田は鐵道改修工事、兵營建築工事、其他工事界の多忙なるものあるを以つて勞働者の金廻り良好なると人口殊に最近增加せるとにて一般商況は物資の消費力を增大し彼の物價騰貴に依る購買力の減退を恢復して而かも其れ以上に諸品の需要增加を見るを以て市況は寧ろ好況を呈せり要するに本地方は物價騰貴の爲め直接影響として事業界及び市況の全的方面に認むべき動搖なしと雖も部分的個人經濟に多少の影響あるは免れざる所とす尙輸出商況（穀物）は比較的閑散の情勢を保ち居れり

▲群山地方 米價の暴騰は地主側の平素要求しつゝありし意に投じたるを以て假令最近幾分か米價下落せしも同年は地主は農事經營上十分なる施設を爲し得べき餘裕を生ずべきも轉じて自作農に至りては先般米價暴騰の際既に其の手持米の大半を賣盡したりし爲め直接好影響を蒙るもの少く小作農は尙得る利得によりて一箇年の生計を支ふるに足るもの極めて稀なる故米價騰貴は忽ち彼等の生活に影響し更に一般物價の騰貴は一層彼等を苦しましめ目下の所甚だしき困窮の狀態にあるもの〻如く當地に於て最近滿洲粟の輸入著るしく增加せるは畢竟彼等の食料に供せらるゝが爲めなり

朝郵株主總會

二十九日午後一時朝鮮郵船會社本店に於て第十一回定時株主總會を開催したるが出席者委任狀附託者九十八名此株數五萬二千九百四十株にして滿場一致を以て計算書類及び利益金分配案を承認し當役松文六氏辭任に付き補缺選擧の結果池尾芳藏氏當選し松崎文六氏へ功勞金贈呈の件は取締役に一任する事に決議せり因に監督官廳よりは伊藤[illegible]課長臨席したり

安東派出員引揚

本月十一日限り新義州稅關安東派出員を引揚げ同派出員の取扱ひたる事務は十一月一日以後安東驛係員に於て處理することゝなりたり

軍司令官歸任

松川軍司令官は野津副官を隨へ二十七日朝自動車を驅り春川步兵第七十九聯隊第二大隊を視察の爲め出發したるが同日午後同守備隊に到著し大隊長勢少佐の案內にて隊內を視察し一泊の上二十八日午後歸任せり

吉林奉天軍衝突

吉林軍と奉天軍とは二十八日伊通縣附近に於て衝突し双方多數の死傷者を出せり張奉天督軍は北京政府の命を受け磐石縣なる許蘭州氏の兵を先發せしめたるものゝ如し（奉天特電）

八幡製鐵所擴張

鐵鑛及石炭を朝鮮支那より

八幡製鐵所にては第二期擴張計畫に依り年額三十五萬噸の製品を產出し第一期擴張時代に比し二倍の生產力を有するに至りたるが歐洲大戰勃發以來我國の鋼鐵需要は實に三十萬噸內外に達し同製鐵所の生產力を距ること頗る遠きを以て茲に第三期擴張を行ひ鋼鐵生產額六十五萬噸產出の計畫を立てたり、而して之れに要する鐵鑛は約八十萬噸にして內六十萬噸は支那朝鮮より殘り二十萬噸は內地の鑛石を使用する筈なるが所要の石炭は更に甚だ多く年額百二十萬噸に上るべく其過半は二瀨炭坑より二十萬噸は朝鮮より尙不足の分は其他より買入する見込なり此の擴張に依る敷地は從來の四十二萬坪の外に三十五萬坪を新に增加すること、成り又從來の同所製品は十二吋程度の小形のものなりしを將來は二十四吋內外の大形とし主として時局柄要求しつゝある造船材料を供給する計畫なりと（東京特電）

師團長出發

第十九師團長立花中將は長野縣下に於ける師團對抗演習及び滋賀縣下に於ける陸軍特別大演習陪觀の爲め山崎參謀を隨へ二十九日夜山驛出發內地に向へたるが其の旅程は長野縣に直行し該演習陪觀の後東京に向ひ關係官廳に對し諸般の打合せを了し更に滋賀縣下に向ひ同地大演習を陪觀し十一月二十一日歸任の豫定なりと因に歸任後鴨綠江沿岸各地守備隊の檢閱をなすことに內定し居れりと

川上東拓理事歸任

西鮮各地方視察中なりし東拓京城支店理事川上常郎氏は米山庶務課長同伴二十九日沙里院發午後五時三十八分南大門驛著列車にて歸任せり

大橋氏來京期

京城電氣會社々長大橋新太郎氏は來月五日頃東京發京城を經て奉天に向ふべしと

大田副官出張

憲兵隊司令部副官大田大尉は三十日より往復約一箇月間の豫定を以て鴨綠江上流地方の事務視察出張をなすべしと

人事往復

▲門田正經氏（東洋協會幹事） 二十九日後入京城ホテルへ
▲鐵月秀輔氏（鐵業家） 二十九日朝入京天眞樓へ

百闘百種

伊太利ポンペイがヴエスヴイアス山の大爆發で灰燼に葬られてから二千年近くなるが▲其の遺跡は又發る限なく發掘せられて羅馬の物質的文明を知る上に非常な便宜を得て居る▲最近にも四個の人骨が發見されたさうだが位置は死んだ時の儘であつて▲二個は上流の夫婦らしく內庭に居る間に屋根が灰や燒石の重量に推へず其處に落ちて下敷になつたものらしい▲男は坐し女は其に立つて居る耳環が耳と水平の位置にあつて指には二個の金指輪がまだ嵌つて居る▲他の一個は青年で逃げやうと思つて竈の穴に頸を突つ込んだまゝ▲も一とつは灰燼に壓死を遂げた壯年者で緻密に彫刻した瑪瑙の嵌つた鐵の指環が右の指にあると▲兎に角近來珍しい發掘物だと外國新聞に見えて居た▲朝鮮王公族に關する諸法規は豫て伊東子の總裁する帝室制度審議會で制定中であつたが▲今回漸く出來上つたので二十六日の午後霞ヶ關坂官舍で總會を催した▲如何樣二百十有餘條に亙る浩瀚の法律とて猶ほ數回の會合を要するだろうとの事

奉天の初雪

奉天は二十八日夜より氣溫下り二十九日朝より折々降雪ありたり（大連特電）

太田理事歸連

支店開設の爲め青島に出張中なりし太田鮮銀理事は二十九日午後入港の神戶丸にて歸連せり（大連特電）

京城府告示第十五號
來ル十一月三日天長節祝日ニ付府廳ニ於テ眞影拜賀式擧行候條同日午前九時ヨリ十時迄ノ間ニ於テ一般隨意拜賀セラルヘシ
但シ服裝ハ『フロツクコート』若ハ紋付羽織袴トス朝鮮人ニアリテハ相當敬意ヲ缺カサル服裝ニテ差支ナシ
大正六年十月三十日
朝鮮總督府府尹 金谷充

今般當會社解散候ニ付當會社ニ對シ債權ヲ有スルモノハ大正六年十二月三十一日マデ淸算人ニ申出ラレタシ此期間內ニ申出ナキ債權ハ淸算ヨリ除斥スルコトアルベシ
右催告ス
大正六年十月廿日
釜山棧橋株式會社
淸算人 追間房太郎
同 大池忠助
同 豐田福太郎
同 井谷義三郎

汽機汽鑵賣却
一、汽鑵 長十五呎六吋 徑三呎 コルニツシユー型 水壓二百封度 壹臺
一、汽鑵 長十二呎八吋 徑三呎 コルニツシユー型 水壓二百封 壹臺
一、汽機 舶來橫式二十馬力 壹臺
一、石油發動機 五馬力 壹臺
一、煙筒 徑一呎 長六十呎 タラツプ付 壹臺
右の品賣却仕り候に付御入用の御方は御一報被下度此段廣告候也
平壤本町 岩田留楠商店

石炭 明治町一 村山商行 電話一〇五一

▲女事務員募集
但し十八歲より二十二歲迄の者
希望者は本人直接[illegible]町一丁目早川演藝部へ來談あれたし
有樂館

最新刊
落語と遊びて / 法律總覽 / 歐洲最近の社會思想 / 立學校入學試驗英語問題 / 金持になる工夫 / 佛教概論 / 淨土眞宗の敎義 / 日宗哲學 / 新渡戶稻造著 世渡りの道 定價一二〇 / 用能書術 / 我子の早敎育 / 有兒物語 一姬二姬三太郎 / 實用作文寶鑑 / 俠傑傳 / 小品文集 / 基督敎と近世思潮 / 鑛石及採鑛法 / 朝鮮漢方藥[illegible]
京城本町 電六八四・二〇八六・振京城二五七三 大阪屋號書店

婦女界 十一月號 本日出來
人格修養の必要 / 私の此頃感じた事 / 食物の經濟 / 先づ男子の不品行より改めよ / 主婦の心得べき傳染病豫防上の注意 / 根本的の治療を要する鼻の病氣 / 愛兒の肺炎を看護したる經驗 / 右の記事に對する批評と注意 / 藥草藥木と民間療法に關する經驗 / ▲僂痲質斯の妙藥に就て ▲赤『ギシギシ』に就て ▲『ニハトコ』の用法 ▲『ドクダミ』の使用法 ▲賃石榴の根 ▲素人風邪藥の妙藥 / 主婦の心掛 / 細工物にふさはしい絞染 / 九年振りで故郷を訪ひて / 婦人修養大會の記 / 主婦の讀物 / 家庭小說 世間 柳川春葉
一冊十七錢 東京牛込加賀町 婦女界社

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行 京城支店 京城本町壹丁目
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

◉安田氏一行[illegible]　貴族院議員百三十銀行頭取安田善三郎氏及び永瀬久吉氏の一行は二十九[illegible]日夜著京せり（東京特電）

◉龍居理事著連　[illegible]道改訂借款其他の用務を了りたる龍居滿鐵理事は二十九日午前八時著連本社に於て諸般の打合せを[illegible]

◉全南海苔好況　内地に於ける海苔の産地たる東京灣は本年暴風雨に依り非常に損害を蒙り海苔は殆んど全滅の姿となりし爲め[illegible]昨年は三郡とも天候不順なりし爲め不況にて其産額微々たりしが一昨年度は約十七萬圓の生産ありたるを以て本年は天候順調に赴けば二十萬圓を突破すべく更に[illegible]も行[illegible]着々準備中になりと

◉浦鹽の近情　最近歸客[illegible]露留通貨依然低落の狀態にあり昨[illegible]前に比較すれば約五割の値上を[illegible]ありたり乍然苦力の勞銀は歐亂前にして正に同盟休業せんずの勢[illegible]け勞銀五割値上を要求し形勢不穩なり[illegible]當府浦鹽港頭の苦力組合に[illegible]浦鹽の苦力勞銀は歐戰前に比し昨今は十割の値上をなしたる有[illegible]

◉大連の降雪　奉天地方は氣溫急激に降下し二十八日夜初雪を見たり之を昨年に比すれば九日早く例年と差なし（奉天特電）

◉暴風警報（廿九日午後四時發）▲風強かるべし▲低氣壓位置日本海中部▲示度七百四十八耗▲進行方向東▲警戒區域咸鏡南北道江原道沿岸

贅澤な米國の監獄

◆自由主義から囚徒は雜居制

京城覆審法院檢事長　中村竹藏氏談

米國に於ける監獄制度は自由主義改善主義で我日本の懲戒主義の制度とは全然趣きを異にして居る監居にしても日本では獨居を理想として居るが米國では

◆囚徒を孤獨ならしむる時は自然非社會的非進取的になつて社會的生存に適せざらしむるに至ると言ふ見解から流度す可らざる重罪犯人を除ては總て雜居制とし改善の見込みある囚徒に對しては自治さへ許して居る。而已ならず人間の品性を高尙ならしむ

◆心性を快活ならしむるには各人の慾望を滿足せしめ慰藉を與へねばならぬと言ふので獄内で活動寫眞を見せテニス、野球、庭球、トランプ等の娛樂を奬勵し音樂隊を訓練して音樂趣味を普及し教育なども囚徒の學力の程度に依つてクラスを作り個性教育を完全ならしむる爲めに

◆一人の教師で十七人以内を教育するを理想として居り教師も又抽象的の神の讚美や聖典の祖述杯は主眼とせず直接囚徒に對し『過去の懺悔を聞いた後、『自己の良心に問ふて其の行爲が善であるか惡であるかを判斷せよ』と言つて一週間なり二週間なりの猶豫を與へて置き自發的に

◆是非の判斷をせしむると言ふ風であるから監獄は恰も教化事業の觀を呈して居る併し乍ら此の自由と改善とを第一義として懲戒を第二義として監獄制度が果して刑事政策上最善であるか否かと言ふ事は米國に於てすら疑問であつて未だ試驗時代に屬して居るが

◆余の觀る處を以てすれば遙かに此の自由主義の監獄制度を謳歌する事は出來ないのである米國の下層民中には『若い間は小事件で監獄に行き老いては平生涯を養老院で送る』と言つて居る者が多い相であるが其結果にや勞働者救濟事業や職業紹介所は充實して居るが犯罪者は實に全人口の

◆百分の二を占めて居るそこで刑制が何等威力を示さず行刑が社會人心に一種の威嚇を與へざる時は怠惰なる者罪辟を有する者は監獄行きを苦痛とせず寧ろ此れを望むに至る可く斯くて寬に過ぎ恕に過ぐる時は良心痲痺した者は罪辟慣熟して職業的犯罪性となり延いては

◆國民道德を紊す虞ある米國は嘔で基督教國を以て誇るであるに犯罪の多い所以は茲にあるであらうと思ふ米國では日本を目して『慈愛ある專制主義』と言つて居るが我等から米國の監獄制度を見たならば『破綻に瀕せる自由主義』とでも言ひたい程で自由主義改善主義の極端に趨る處、一監獄を囚人の自治に委し食物の如きも一日分一圓以上を費して

◆營養滋味を豊かにするに至つては我日本の監獄制度の[illegible]し能はざる處之れに伴ふ弊[illegible]つては余が贅言を要しないと思ふ

高等普通學校の運動會

去る二十七日雨天のため延期された京城高等普通學校の秋期運動會は風強き曇天なるにも拘はらず二十九日午前八時より花洞同校庭に於いて開かれた運動場は裝飾に中々賑々しく、北岳より吹下す風にポプラの黄葉を胸に受けながら決勝點に向つて突進に驅出す學生等の氣象は頗る元氣であつた。當日の呼物として三哩長距離競走あり校門を出發して光化門通り昌德宮前を廻つて再び校内に歸るのであつたが中々盛況であつた

月賦債券詐欺は懲役一年

平壤旭町日本勸業債券月賦販賣所主任渡邊榮作（三十）は本年五月二十六日大和町石版業西村武文方に於て日本勸業債券月賦販賣保證金納入用紙十枚を僞造したる上同町印判業多田一貫堂方にて勸業債券月賦販賣所の印を僞造し恰も三百圓の保證金を預入しある如く記入したる上僞印を押捺し該僞造の證書を携へ陸路里金永燦より金百圓を騙取したる外八月十四日櫻町六番地塚本治郎吉より勸業債券十圓券九枚を壽町大上萬吉より現金三百圓を八月十六日鹽店里李寬應より債券四十圓を詐取したる外數十ケ所に於て合計千百餘圓を騙取し該金全部を賑町遊廓若松樓長崎樓等にて消費したる詐欺事件は去る二十六日平壤地方法院に於て懲役一年六月の判決ありたり（平壤）

巨熊を斃す

◆月の輪目蒐て

京城花園町佐々木十太郎氏は近々四十日間に熊二頭を斃し更に廿六日江原道鐵原郡に於て六十餘貫の巨熊を射殺して二十九日午後本社構内に運び込んだ其の談に曰く私は通川郡で熊二頭を射て歸り更らに本月中旬猪でも捕つて土産にする心意で鐵原郡虎目面新峴里に行つた同地は猪は出て來るが

▲猪も熊も出て來る樣な土地では無いので熊などを捕らうとは夢にも思つて居なかつたが二十五日一頭の猪の後を追つて行くと突然小さい松林の中に異樣な鳴き聲が起つてだん／＼我々の方に突進して來る模樣であつたから勢子の姜が大聲立てゝ猪が！猪が！！と叫んだので自分も宜い獲物御參なれと銃を取り直して遙かに眺めると件の怪獸は姜の聲に驚いて松林を逃げ出して畑の中に入つたので始めて熊と知つた其處で二人は

▲大いに勇んで其の後を追ひ一日中かゝつて四發を命中させたが遂々日が暮れたので明日を期して一先引揚げた明れば廿六日未明から松林の中を探して步いたが熊はいつしか川を渡つて他の方面に姿を晦ましたので足跡を辿つて追つて行くと二尺許りの小松林に呻き乍ら寢て居るのを發見して一發見舞ふと熊は七轉八倒し乍ら樹を折り枝を割き果ては後肢で突立つたまゝ唸つて居たのを

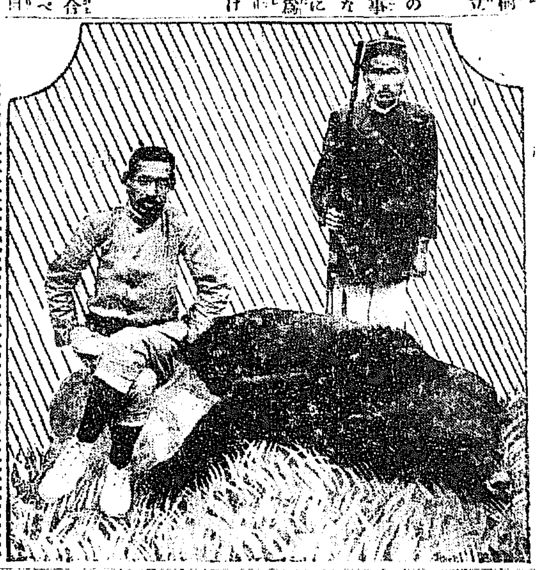
▲八間許りの處から月の輪目蒐けて一彈放ち遂ひに斃す事が出來たのであるが自分は彼んな處で熊を捕つた事を不思議位ゐに思つてゐる云々因に熊は冬籠の爲めに山を出て堅の實や稻を喰ふ節であるから晩秋から初冬にかけては熊狩の好時季であると

聯合艦隊鎭海に來らん

海軍演習の爲め編成されたる聯合艦隊は十一月二日鎭海に入港すべし驅逐艦を母艦とする潜水艇隊は目下側に入港し居り命令と共に某方面に出動す可く準備を整へつゝあり（馬山特電）

白皚々

鴨綠江國境なる平北江界附近は廿九日朝來白雪霏々として降り山河一時に銀世界と化せり（江界特電）



大熊を射止めた佐々木十太郎氏

急に寒い

例年より暖い

二十九日朝より俄かに冷氣身に逼り市中には外套姿の往來を見受くるに至りたるが是に就き京城測候所員の談を聞くに二十七日黄海に現はれたる低氣壓は二十八日日本海方面に

▲漸次東進したる爲めに朝鮮各地及び滿洲九州迄一般降雨あり其の東進と共に支那大陸に優勢なる高氣壓出現し北西の風荒みて氣溫俄かに下降し二十九日朝は浦鹽南方の海上に低氣壓を見るに至り反對に蒙古大陸地方に七百六十六ミリメートルといふ高氣壓出現せり而して朝鮮各地は概ね晴天なるも東海岸地方には

▲快晴の所もあり二十九日午前六時攝氏六度八分を示し二十八日は十二度なるに比し俄かに數度の下降を見たる次第なるも例年の昨今に比し尙幾分暖かき方なりと而して天候は一兩日中に恢復すべきも氣溫は尙低下すべき見込みなりと

倶樂部物語り

—近く解散される大正倶樂部こそその倶樂部氣質—

京城には營業にしてゐる玉突の倶樂部も隨分多いが、官廳、銀行會社に附屬して撞球臺を備いてゐる倶樂部も尠なくない、その數ある倶樂部の中で歷史から言つても

◆倶樂部員の顏觸を見ても又その設備に於ても、事實嶄然として頭角を現はしてゐるの觀がある黄金町貴族會館構内の大正倶樂部は今度、總督府所屬諸官署の職員有志を以て組織された京城倶樂部に併合されて近く解散する筈である。この倶樂部は倶樂部員の多くが官吏は高等官以上の者のみでありその他民間の者では銀行會社の課長以上錚々士紳記者等所謂

◆智識階級の人たちであり入會にいろ／＼むつかしい手續きなどがあるため市民の或る一部からは『殿樣倶樂部』などゝいふ冷嘲的の評語を奉つられたやうな事もあつたが、又それだけ、市中の玉突場や二三の倶樂部は例外としてその他の各部には到底見る事の能きない氣持のいゝところがあつた、それはなんであるかといへば先づ第一に倶樂部員の殆んど全部の倶樂部内に於ける時の言行が何時いかなる場合でも紳士的であるといふことであつた一體撞球はあまり眞面目になり過ぎるのも

◆興覺めるものだがしかも相手が甚だしく粗野な人であつたり不眞面目な人である時は著しく不愉快を感じてその興味の大半を減殺されるものである、又たとへ當の相手が立派な撞手であつたとしても周圍に妙な人がゐると當らなくなるのが常である、此處の倶樂部ではそれが全くなかつた、その代りに市中の玉突場に於けるが如き生氣潑剌たるゲームを戰はすことは望み得られなかつたのは已むを得ないことではあつたが——次ぎに玉突のいゝこと

◆撞球場所の廣いこと、その他諸設備の行き届いてゐたことなどいづれも出入の倶樂部員をして愉快に娛ましむる要素を十分に具へてゐた、そして倶樂部に籍を置いてゐる人は會長の石塚東拓總裁、首め可なり多いけれども、よく玉突に集まる所謂常連としては第一の熱心家たる幹事の洪澤監獄課長を首め横田、山口、堀の三判事、和田鐵道局監理課長、境檢事、荻田總務局長、人見鐵道局長、神野事務官等の諸氏で時々

◆思ひ出したやうに倶樂部へ顏を出す人に中村時章氏吉田大麥酒出張所長、山縣ソウルプレス社長、憲兵隊の太田副官などもあつたが是等の人々が同時に會するといふことは殆んど稀れであつたし、又この人達が孰れも好きではあつても樂しみに淫するやうなことはなかつたから倶樂部へ行つても撞手が多くて困るといふ心配もなく

◆暢びりこした心もちで撞くことが能きたものであるだからこの倶樂部氣質は極めて暢暢であつた、しかしながらこの倶樂部にはこういふことよりは倚一層他に向つて誇るべきものがあるそれはなんであるかと言へば倶樂部として二十年以上に亙る永い歲月を經て來たことである、今その永い生涯に終りを告げて解散されるに方つて舊い過去をたづねて見ることにしよう（つゞく）

天長節奉祝大提灯行列

來る三十一日午後六時

市民諸君の奮つて參加を希望す

市民奉祝會

長唄溫習會番組

三券藝妓四十餘名出演

杵屋正三郎の長唄溫習會にて十一月三日夜壽座に秋季溫習會開催の事は既報の如くなるが當日の出演番組出演者等全く決定せり、出演者は同會員たる三券番選り拔きの藝妓約四十名、溫習會の幹事として幅助、その、加代、金万郎、同補助としてたか、三太の兩名目下頻りに奔走中なるが、大日本麥酒會社京城出張所にては吉川氏が同會員たる關係上盛んに應援、當日壽座内外の裝飾その他の設備を引受けて景況を添ふべく、又出演者は過日來より熱心に稽古中なるが、當日の入場料は七十錢及五十錢の二種とし切符は當日木戸口にて賣る外前以て賣出しを致さゞるべしといふ當日の番組左の如し

▲一、操三番叟▲二、故郷の花▲三、五郎時宗▲四、安宅の松▲五、末廣狩（踊）▲六、松の翁▲七、春日獅子▲八、外記猿▲九、吾妻八景▲十、小鍛冶▲十一、四季山姥▲十二、老松▲十三、今樣（?）▲十四、賤機帶（踊）▲十五、船辨慶▲十六、風流船揃▲十七、新曲獅子▲十八、元祿花見踊（踊）

割木で撲る

全南長城郡南面也山里居住吳來大（三十）は二十日夜兄より甚く叱責せられたるより泣き乍ら同所金点守（三十）方の門口に至りたる折柄点守は之を見て衝突したるより兩人格闘となり点守は來大の頭部を割木にて打割り遂に死亡するに至らしめ点守は引致取調べ中

啞娘は一年

長崎縣南高來郡多比良村生れ京城櫻井町二丁目居住の啞娘中出りき（二九）が市内二十餘箇所より金指輪化粧品等を竊取して身を飾りゐたるを檢擧されたる事は既報の通りなるが同人は此の程京城地方法院に於て懲役一年の處分となれり

兇賊の片割れ

全南光州郡瑞坊面三角里金洪淑（三五）は鄭寅瑗孫仲等と共謀して咸平郡月也面月也里金洪學方へ強盜に入りたるが前記兩名は既に逮捕され入監中なるも金洪學のみは逃走中此の程逮捕され檢事局へ送らる

寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛版　京城日報社寫眞製版部

東京式タンス　指物製造販賣　京城本町四丁目　電車終點若草入口　津村タンス店　電話二六七〇番

御婦人かみゆい生徒募集

二ケ月にて卒業　教師東京美髮學校卒業生　京城吉野町一丁目　京城高等婦人美髮學會

京日案内

普通

◉貸家　黄金町三丁目井物商附近日本建二階家間數五湯殿水道電燈付　蓬萊町四丁目中村（電一九七七）

◉內地人配達夫募集　但二十歲前後　希望者履歷書携帶來談あれ　大平通二丁目　朝鮮公論社　770

古本買入申候　本町一丁目（明治町筋）野村書店　電話三〇五〇番　765

◉貸家　貸家又は家屋向間數十有離家十疊付　黄金町三丁目二四一　古賀迄　747

◉電話開通（三千百五番）　大和町一丁目四一　杉野樂器店　755

番外

◉助手一名至急採用す　志望者は申込れたし　仁川京日仁川支局

◉朝鮮語科　◉英語科　新學期三ケ月修業　各級補缺募集　南大門通漢城銀行向ひ　京城青年會　768

女子募集　尋常小學校卒業程度の者十四歲より廿五六歲迄　龍山總督府印刷所　771

◎小兒預けたし　生後四ケ月の女子御預り下さる方は（電話二六三六番）へ御照會下さい　769

内勤事務員採用　月俸二十圓以上履歷書携帶受驗　日本生命保險株式會社開城代理店　738

礦物定量分析　太平町二丁目二五　電長二三四四　朝鮮公論社横小路　坂元分析所　748

恩給年金即時　長期低利現金　三年分迄無保險　京城南大門外　山口屋　677

恩給年金立替　五年半分迄低利無掛引即時　若草町百六　電話三千十一　西村商會　599

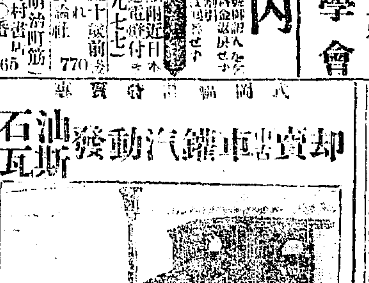
眼科專門　金井眼科醫院　京城若草町（總督府前電車若草町停留所）　電一五五六　新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

資本金　二三、七〇〇、〇〇〇圓　積立金　一一、三二〇、〇〇〇圓　諸預金　一八八、〇二〇、〇〇〇圓　株式會社第一銀行支店　支配人　西村道彦　京城府本町二丁目（振替貯金京城一一番）

金剛飴　朝鮮名産　京城本町　電話四二七五番　龜屋

内外科　小兒科　花柳病　京城本町二丁目（齋藤前）電話二一六番　高井醫院　院長　高井貞治　正六位勳四等功五級　診察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄　副院長　千葉醫學士　松崎正彦

石油瓦斯發動汽罐車賣却



輕便鐵道用及土工用に適す（鐵道用カ六噸半）貳臺格安に賣却す　沖製造新品電信機（モールス現字機）數臺の格安賣却品あり　京城南米倉町　安達商會　電話一九一番

朝鮮釀造品評會　一等賞（壹）二等賞（貳）受領　同共釀造　京城府櫻井町　中井酒造場　電話一七七番　京城新町　田中酒造場　電話九二四番

十三版　勤儉堂主人述　信券利殖秘傳　新債券即時賣切　新債券が空前の盛況裡に即時賣切の消息を知れ

謹告　今三十日遞信倶樂部御觀覽貸切に付一般御客樣に對しては御斷申候　十月三十日　黄金館

○ミツワ人參錠

人參を科學的に研究して之を錠劑ごせる

みつわにんじんちやう

主効

神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

本劑は鎭靜、催眠、利尿、健胃、強壯等の諸作用を具ふるものにして、其主治的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及是等の疾患に發現する諸症候即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、諸計畫不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足の冷、遺精、陰萎等に對して偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、瘧病、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に營養不良を回復して、蒼白なりし皮膚をして強壯なる血色に變せしめ、體力を增進し、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し頭腦を明晰にし、意氣旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等比類なき卓効を奏す

(現品縮寫圖)

定價 百錠入 金五十錢 五百錠入 金二圓
內地以外は關稅運賃を加ふ

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

○ミツワ人參錠適應症候

一、頭が重く或は痛く頭の內が朦朧となる人
一、眼が疲れ易き人
一、根氣が乏しく直に上せて落ちつかない人
一、眠らうとしても眠られぬ人
一、寢てから變な夢を見たりする人
一、些細の事を氣にかける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しくもないのに泣きたい人
一、精神の鬱々する人
一、何事にも悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へる事の出來ぬ人
一、物に記憶の不良な人
一、雜念が頻りに起つて集注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、陰萎や遺精で悲觀する人
一、腎臟炎に苦む人
一、產後又は病後の衰弱を防ぎたい人
一、勞働して疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く恢復したい人
一、精力を強くしたい人

○ミツワ複方人參錠

人參を中藥こし之に沃度及臭素劑を配合せる

みつわふくはうにんじんちやう

主効

動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、神經性心悸亢進、心臟肥大、脂肪心、心臟內膜炎、心臟炎、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、營養不良、精力減退、老衰

本劑は變質作用ある沃度加里を含有するが故に病的產物の吸收並に排泄を促し、健全なる細胞を新生せしめ、且血管壁に於ける石灰沈著を防ぎ、血液の粘度減少及血管の擴大を誘起し、以て動脈硬化、動脈瘤、腦溢血及び心臟疾患に卓効を擧げ、又鎭靜劑として人參の外に臭素加里を含有するが故に、中樞神經系に於ける知覺並運動裝置の興奮性を下降せしめ、神經系の過敏症、即ち神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、神經性心悸亢進に偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血を治し得べく、殊に人參の有する利尿、強壯等の諸作用に依り、腎臟炎に於ける尿異常、浮腫等を除き、營養不良並貧血に應用すれば、皮膚蒼白、食氣缺如、筋肉瘦削、心窩苦悶等の諸徵を回復し、尚ほ老衰を防ぎて能く精力を增進する等の著効を奏す

(現品縮寫圖)

定價 百錠入 金七拾錢 五百錠入 金三圓
內地以外は關稅運賃を加ふ

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .70 500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the pressent. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

○ミツワ複方人參錠適應症候

一、心悸の亢ぶり易い人
一、心臟部の緊めらるゝやうな人
一、心臟部の苦しい人
一、心臟部の痛い人
一、心臟に故障のある人
一、呼吸の促つて苦しい人
一、胸部の苦しい人
一、中風の人
一、半身不隨の人
一、卒倒し易い人
一、動脈の硬くなつて居る人
一、手足の冷ゆる人
一、肺の弱い人
一、腎臟の惡い人
一、前膊の浮腫む人
一、皮膚に光澤の無い人
一、顏色の蒼褪めて居る人
一、頭痛に惱む人
一、眩暈に苦む人
一、氣の欝ぐ人
一、元氣よく活動したい人
一、壽命を永く保ちたい人
其他ミツワ人參錠を服むべき人にも之を用ひて宜し

秋

いづこもおなじ夕暮の溫浴には

▽化學的純良の石鹼と知られ
▽化粧衛生の第一品とせられ
▽廉價なる良品と認めらる

品質本位

花王石鹼の愛用益々盛んなり。

長瀬商會 大崎組商會

大賣出し
黃金町二丁目長橋町
電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

森永ミルクキャラメル

記錄保持者(レコードホールダー)

品質上にも賣行上にも嗜好界の第一人者は

最新刊

常平庵主人著

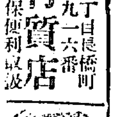
朝鮮之古錢

歷史的記念品

▼本書は朝鮮の古錢に關する唯一の發行物にして全部實物古錢を添付す
▼好古家諸氏に便する爲特に各頁に朝鮮、支那、日本の年代及び記事を秩序的に記す
▼歷史の參考品高麗朝の遺物として朝鮮を代表する絕好記念品なり

實物古錢添付
廿二個付 金一圓廿錢 送四錢
五十個付 金四圓 送八錢
六十個付 金五圓 送八錢

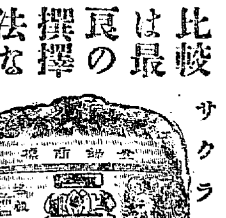
發行所 京城 ウツボヤ書籍店 發兌
振替京城三〇〇番
發賣元 京城日報社代理部


七日ツケカラ鏡をごらん色白くなるゲンノ液

今東京で大評判の色を白くする新發賣顏のヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す 送料內地八錢 滿鮮卅錢 臺灣廿錢
小瓶二十錢 徳用四十錢
東京神田和泉橋

比較は最良の撰擇法なり!!

サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 四八一四 九五四四番
振替京城五七番

藥種賣藥卸商

醫化學諸器械一式

Ⓚ

仁川本町
北島藥店

京城本町 永樂町角
北島藥店京城支店
電話三三四・振替京城六七番
電話七六一番

玩具卸商
薄利多賣且荷迅速は弊店の特色
京城本町一丁目
織田東洋館
電話二六九八番
振替京城二五六七〇番

內科 小兒科 外科 婦人科 入院隨意

淋病梅毒ハ夜間ニテモ診療ニ應ズ
黃金町二丁目長橋通角
朝鮮診療病院
院長 谷木佐一
電話二八三七番

百圓

りん病 ばい毒

合格試驗料 特二圓 並一圓
藥 特三圓 並二圓

淋病梅毒主藥は治療劑として、梅毒主藥は驅梅內服藥として醫藥學上最有効と確定セル帝國醫科大學病院等に於て實驗節顯せる高貴藥たることを保證す若し前述の證言に反する事を發見せる時は分析料として百圓進呈

▽あらゆる治療を試みしも効なき患者は是非一度來談あれ

にせ物あり

大阪 有田 (田)を印ありて販賣あれ

京城南大門外停車場通
大阪有田ドラッグ商會朝鮮本部

他の藥店に販賣を不許

京城南大門外停車場通 ドラッグ

梅毒 麻病 外科

主 生殖器 泌尿病
ひふ病 一般
肛門病 痔瘻 其他

京城旭町壹丁目
專門 牧醫院
六〇六 ネオ六〇六 ワクチン毎日注射

開自動車營業時刻

織居自動車部 金泉支部

日本郵船 仁川出帆
大連行、太沽(天津)牛莊行
相模丸 十一月三十日
高砂丸 十一月九日
三河丸 十一月廿日

尼崎汽船 仁川出帆
大阪行 神戶 門司 釜山 下關
神有丸 十一月三日後四時
大代丸 十一月二日後四時
君が代丸 十一月廿七日後四時
仁川代理店 商杉回漕部

共同汽船 仁川出帆
阿波共同汽船 大連行
第十共同丸 十一月三日午後
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河同運送店

朝鮮郵船 仁川出帆

元山經由 釜山行
平壤丸 十一月二日
京畿丸 十一月二日
成鏡丸 十一月三十日
忠淸丸 十一月四日

元山鐘路 城津 淸津行
鎭城丸 十一月一日 元山發
三浦丸 十月三十日

安東行
平安丸 十月三十日 元山發
濟州行 慶尙丸 十月三十日
江陵丸 毎日 釜山發
蔚山行 統營丸 十月
旌善丸 十一月
一木浦行 毎日 木浦發
木浦 公州丸 十月廿九日
多島海 慶興丸 十一月二日 木浦發
晉州丸 十月廿七日
麗水丸 十一月一日
江原丸 十月 仁川發
南陽丸 毎日 仁川發
金州丸

本社 電話長一九五二、二三二三番
京城代理店 松原運送店

釜山出帆廣告

尼崎汽船部 神戶、大阪行
船 十月三十一日後五時
門司 宇品 神戶 大阪行
第三琴平丸 十一月 日後六時

大阪商船會社 仁川支店
京城支店 電話七〇八

大阪商船 仁川出帆

大阪行 神戶、大阪行
濟州丸 十一月 日後二時
南頭丸 十一月 日後二時
大連行 安東丸 十一月十六日後二時
安東行 鎭南浦、平壤行
湖北丸 十月三十日前六時

◉露鐵運輸問題

二十九日下 ……

▲露國 現下の糧食上及び凡て……修治し宛も國の動脈に比すべき運……

▲進捗 機關を危殆より救はんの企つる所に依れば工業組合の形……

關車は日々に其の數を減すのみにしてこれを補すべき豫備すらあらず鐵道當局者さへ目下の處これを……りて無を求むるより難しとする所なりこれに關し莫斯科の工業家は鐵道當局と力を併せ此國家……時局柄良く其の國家的の意義を知りたるものと謂ふ可し即ち機關……に依り政府自ら勞銀の支拂ひをなす事にして第二として原料及び燃料炭は國庫より供給を受くるなり然して同組合は財政の關係より銀行家の援助を求めん爲これを……

▲國家 的性質を帶べるものの案に依れば工場設置場として二ムクトルス鐵道の一地所と定め日少くとも百車內外の修繕を容易に……互に改修工事を起す事となれり

▲深谷灘(深谷面)新堤(枝川面)東松堤(東上面)上谷堤 ▲星州郡(星州面)……

榮州郡(乃山面)……